NTT docomo

dtab 01

取扱説明書 ’13.2

はじめに

「dtab 01」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

dtab 01の操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本体付属品)

本端末の基本的な操作や画面の表示内容について説明しています。

■「取扱説明書」(本端末のアプリケーション)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。
アプリケーション画面（P.48）で「取扱説明書」をタップすると起動できます。

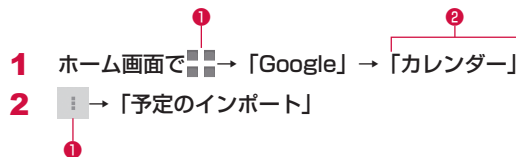
- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って、アプリケーションのダウンロードとインストールを行う必要があります。

■「取扱説明書」(PDFファイル)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。
以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

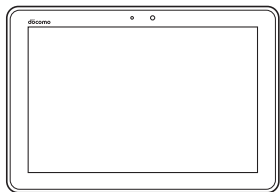
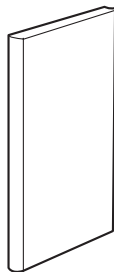
操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。
＜例：ホーム画面に表示されているアイコンを操作し、アプリケーションやメニュー項目などを続けて選択する操作手順＞

❶ 名称表示のないアイコン
❷ 名称表示のあるアイコンやメニューなどの選択項目

■ お知らせ

- 本書の本文中においては、「dtab 01」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作手順や画面表示は、主に本端末のお買い上げ時の状態に基づいて記載しています。アプリケーションやサービスなどを追加／変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書は、ホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定については、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法やアプリケーションの操作方法などは、登録先の都合やアプリケーションのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。
- 本書の内容やホームページのURL、および記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。

本体付属品

■ dtab 01本体（保証書付き）

■ クイックスタートガイド

■ dtab ACアダプタ 01（保証書付き）

<dtab ACアダプタ 01本体>

<microUSB接続ケーブル>

■ 自立スタンド（試供品）

目　次

ご使用前の確認と設定

docomo Palette UI

電話帳

メール／ウェブブラウザ

本体設定

ファイル管理

アプリケーション

付録／索引

本端末のご利用について

- 本端末は、無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、音声通話、SMSおよびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）、パケット通信には対応しておりません。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音やアラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、その他のサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、本端末やACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

本端末内のmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

通知音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.10「5.材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3.ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）の取り扱いについて

ACアダプタ本体のUSBコネクタには、付属のmicroUSB接続ケーブル以外を接続しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

警告

microUSB接続ケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

microUSB接続ケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、microUSB接続ケーブルを無理に引っ張らず、ACアダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

5.材質一覧

使用箇所		材質・表面処理
本体	ディスプレイ／前面部	ガラス
	外装ケース（前面枠部分）	PC・10%GF
	外装ケース（裏面上部）	PC
	外装ケース（裏面下部）	Al、サンドブラスト・アルマイト処理
	電源キー、音量上／下キー	PC・TPU、UV塗装
	microSDカードスロットカバー	PC・TPU
	microSDカードスロット	ステンレススチール・ニッケルメッキ、銅合金･金メッキ、銅合金･錫メッキ
	イヤホン端子	LCP、PPS、銅合金・金メッキ
	外部接続端子	ステンレススチール・錫メッキ、銅合金・金メッキ
	背面カメラレンズ	ガラス
dtab ACアダプタ01本体	本体	側面：PC樹脂・グロス 表面：PC樹脂・マット
	電源プラグ	銅合金
	USBポート	銅、銅・ニッケル電気メッキ、PBT
microUSB接続ケーブル	ケーブル部（コネクタ部分含む）	PVC
	microUSB端子	ニッケルメッキ、LCP
	USB端子	銅メッキ・ニッケルメッキ、PBT

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）は防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチパネルが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ･ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、ACアダプタ（microUSB接続ケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、外部接続端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。
使用周波数帯域：2400MHz帯
変調方式：FH-SS方式
想定される与干渉距離：10m以下
周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。
使用周波数帯域：2400MHz帯
変調方式：DS-SS方式、OFDM方式
想定される与干渉距離：40m以下
周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

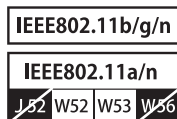
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHｚ帯使用上の注意事項

本端末の無線LANは5GHz帯の周波数を使用します。5.2GHz帯／5.3GHz帯無線LAN（W52／W53）の屋外利用は電波法で禁止されております。

本端末が日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

- W52：36ch(5180MHz)／40ch(5200MHz)／44ch(5220MHz)／48ch(5240MHz)
- W53：52ch(5260MHz)／56ch(5280MHz)／60ch(5300MHz)／64ch(5320MHz)

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘版は以下の操作を行うことでご確認いただけます。

ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」→「タブレット情報」→「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

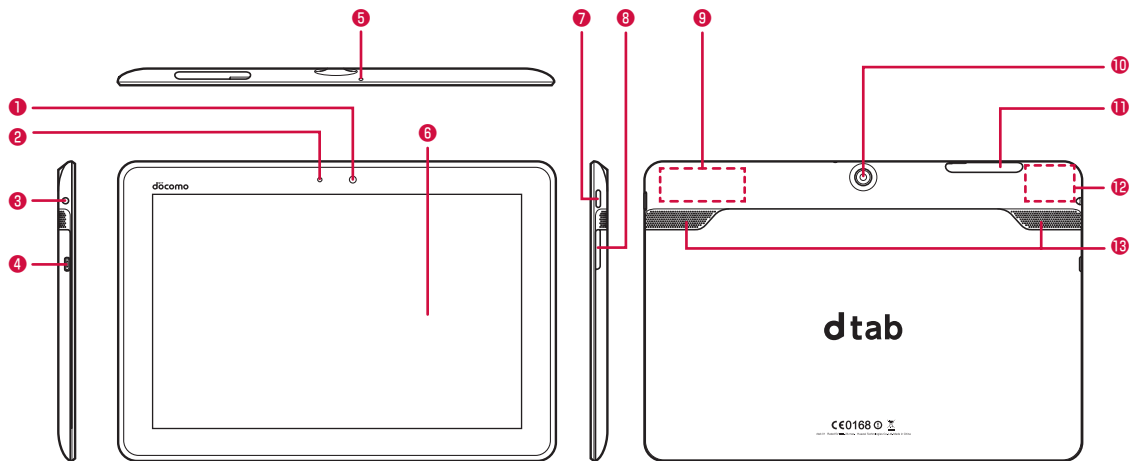
運転中の携帯端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

各部の名称と機能

❶ インカメラ

- 静止画や動画の撮影などに使用します。

❷ 照度センサー※1

- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。

❸ イヤホン端子

❹ 外部接続端子

- 充電時やパソコン接続時などに使用します。

❺ マイク

- 音声入力などに使用します。

❻ ディスプレイ（タッチパネル）

- 指で直接触れて操作できます（P.23）。

❼ 電源キー

- 電源のON／OFF、スリープモードの手動設定などに使用します。

❽ 音量上／下キー（／）

- 通知音の音量や音楽の再生音量などを調節します。

❾ GPSアンテナ部※2

❿ アウトカメラ

- 静止画や動画の撮影などに使用します。

⓫ microSDカードスロット

- microSDカードを取り付けます。

⓬ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部※2

⓭ スピーカー

- 通知音や再生中の音楽などが流れます。

※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

microSDカード

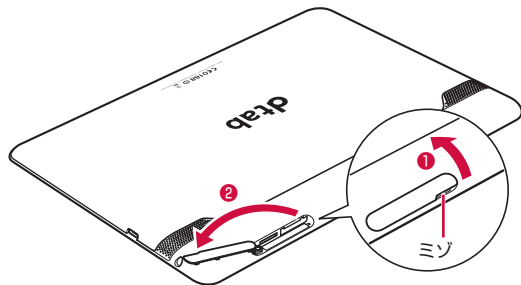
microSDカードを使用すると、本端末のデータを保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。

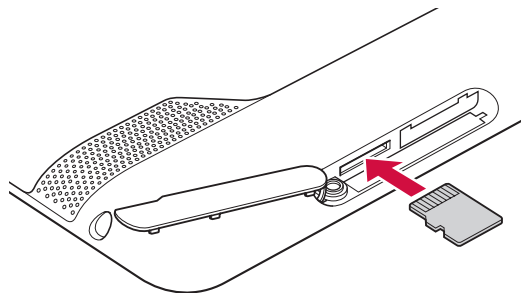
- 本端末は2GBまでのmicroSDカード、および32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています。（2013年2月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。各microSDカードの本端末への対応状況については、microSDカードのメーカーへお問い合わせください。
- 市販のmicroSDカードを使用するときは、本端末でフォーマットしてください（P.74）。

microSDカードの取り付け／取り外し

取り付けかた

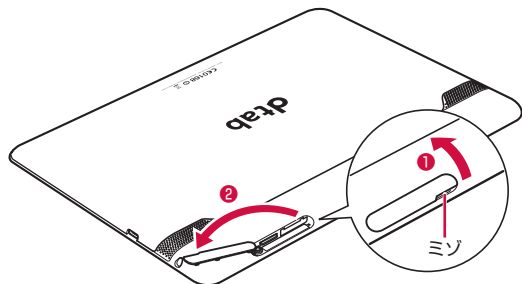
1 microSDカードスロットカバーのミゾに指先をかけて開く

- microSDカードスロットのとなりのスロットには、回路や基板などを保護するためにウレタン素材のフォームが充填されています。ウレタン素材のフォームを取り出したり、物を押し込んだりしないでください。故障の原因となる場合があります。

2 microSDカードの金属端子面を上にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む

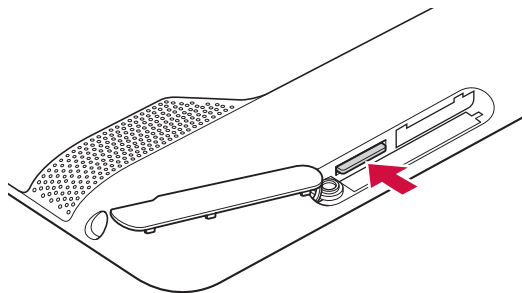
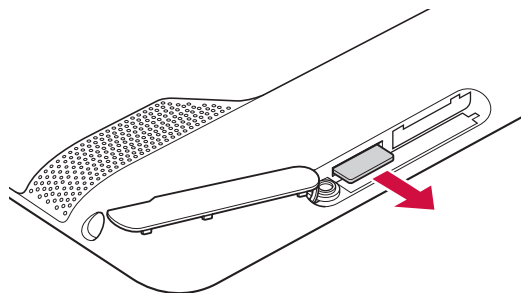
- microSDカードが完全に取り付けられていることを確認してください。

3 microSDカードスロットカバーを閉じる

取り外しかた

- microSDカードの取り外しは、必ずmicroSDカードのマウントを解除してから行ってください（P.74）。

1 microSDカードスロットカバーのミゾに指先をかけて開く

2 microSDカードを押し込む

microSDカードが少し出てきます。

- 押し込んだ後は、ゆっくり指を離してください。

3 microSDカードを引き出して取り出す

4 microSDカードスロットカバーを閉じる

充電

充電時のご注意

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。

充電について

- 詳しくは、ご利用になるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- dtab ACアダプタ 01、ACアダプタ 04はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用に変圧器を使用しての充電は、行わないでください。

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

Li-ion 00

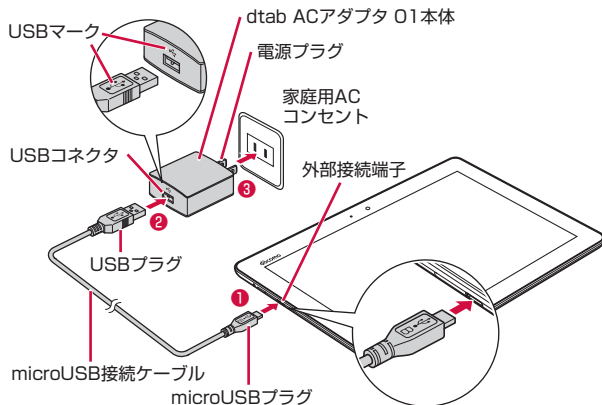
内蔵電池の充電時間の目安

dtab 01の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

dtab ACアダプタ 01	約350分

ACアダプタを使って充電する

付属のdtab ACアダプタ 01を使用して充電する方法を説明します。

- dtab ACアダプタ 01本体のUSBコネクタには、付属のmicroUSB接続ケーブル以外を接続しないでください。

1 本端末の外部接続端子にmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして、水平に差し込む（❶）

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、USBマークを上にしてACアダプタ本体のUSBコネクタに水平に差し込む（❷）

- USBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。

3 ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む（❸）

充電が開始され、ステータスバーに🔋が表示されます。充電が完了すると、ステータスバーに🔋が表示されます。

4 充電が完了したら、コンセントからACアダプタ本体の電源プラグを抜く

5 ACアダプタ本体からmicroUSB接続ケーブルのUSBプラグを水平に抜く

6 本端末の外部接続端子からmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを水平に抜く

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **を2秒以上押す**

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.40）。

2 **画面ロックを解除する**

画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.22）を参照してください。

■ お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- を押した後、本端末の反応がない場合は、充電が不十分な場合があります。充電完了後、再び操作を行ってください。
- 画面ロックを「タッチ」に設定している場合、ロック画面で通知パネルを表示できます。

電源を切る

1 **を1秒以上押す**

2 **「電源を切る」→「OK」**

- 再起動したり、機内モード（P.65）やマナーモード（P.71）を設定することもできます。

■ お知らせ

- を長押ししても本端末の反応がない場合は、を10秒以上押すと、強制的に再起動することができます。

スリープモードを解除する

本端末を一定時間操作しなかった場合、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードの状態になります。スリープモードを解除するには、を押します。

画面ロックを解除する

画面ロック（P.79）を設定すると、電源を入れた後やスリープモードを解除した後に、選択した操作を行わないと本端末が操作できないようにロックすることができます。また、本端末の誤動作を防ぐために、手動でロックすることもできます。

<例：画面ロックを「タッチ」に設定している場合>

1　ロック画面で🔒をタップ

- 画面ロックを「タッチ」に設定している場合は、ロック画面のアイコンをタップしてカメラや検索機能を直接起動することができます。

■ 手動でロックする場合

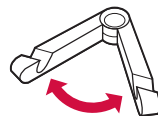
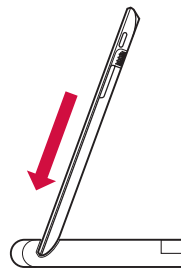
① ⊂⊃を押す

自立スタンド

自立スタンド（試供品）に本端末を立てて利用することができます。

- 自立スタンドは平らな場所に設置してご利用ください。

1　自立スタンドの足部分を左右に開く

- 止まるところまで完全に開いてください。

2　自立スタンドを押さえながら本端末を矢印の方向に差し込む

■ お知らせ

- 自立スタンドの開閉時に、指やmicroUSB接続ケーブルをはさまないようご注意ください。
- 本端末を自立スタンドに立てた状態で操作する場合、強い力でタップなどの操作を行うと、自立スタンドおよび本端末が倒れる恐れがありますので、ご注意ください。

基本操作

タッチパネルの使いかた

本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネルをご利用になる前に

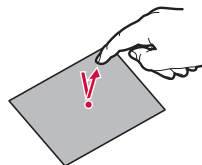
本端末は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

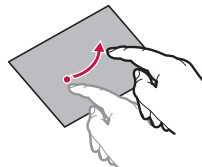
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

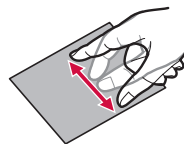
■ お知らせ

- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

タップ／ダブルタップ

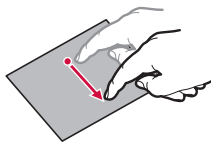
項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

フリック

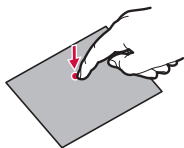
ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。

ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するときに使用します。

スライド（スワイプ）

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

ロングタッチ

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーに触れた状態を保ちます。

ディスプレイの表示方向の自動切替を設定する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

1 **通知パネル（P.43）を表示する**

2 **／をタップ**

- タップするたびにON（）／OFF（）が切り替わります。

■ お知らせ

- ホーム画面やアプリケーション画面、一部の機能の画面など、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。

画面表示を画像として保存する

ディスプレイの画面表示の内容を画像として保存することができます（スクリーンショット）。保存したスクリーンショットは、ギャラリー（P.97）で確認できます。

1 **スクリーンショットを保存したい画面でと（音量下キー）を同時に1秒以上押す**

- スクリーンショットが保存され、ステータスバーにが表示されます。
  通知パネルを開いて通知をタップすると、保存した画像を表示できます。

■ お知らせ

- 機能やアプリケーションによっては、スクリーンショットが保存できない場合があります。

文字入力

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。
入力方法（キーボード）には、次の4種類があります。

入力方法（キーボード）	説明
Androidキーボード	英数字・記号のみ入力する場合に選択します。日本語入力はできません。
FSKAREN for Huawei	日本語を入力する場合に選択します。お買い上げ時の入力方法です。
Google音声入力	音声で文字を入力する場合に選択します。
Japanese IME	日本語を入力する場合に選択します。

■ お知らせ

- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリケーションや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードを変更する

1 ホーム画面で → 「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」

言語と文字入力設定画面が表示されます。

3 「デフォルト」→利用したい入力方法をタップ

- 「Google音声入力」は選択できません。「Google音声入力」を利用したい場合は、文字入力のたびに、下記お知らせの方法で選択してください。
- 利用したい入力方法を、あらかじめ言語と文字入力設定画面で選択してください。

■ お知らせ

- キーボード表示中にステータスバー（P.41）のをタップしても変更できます。

FSKAREN for Huaweiで入力する

FSKAREN for Huaweiでは、次の4種類のキーボードを利用できます。

■ 10キー

複数の文字が各キーに割り当てられています。フリックして文字を入力するフリック入力、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力、2タッチ入力の3種類から選択できます。

- 半角英数字入力時に表示される a⇔A をタップすると、英字の大文字／小文字を切り替えます。
- フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にフリックして、入力する文字を選択する入力方法です。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力したい文字の方向にフリックします。ポップアップ中央の文字は、キーをタップするだけで入力できます。

  (例)「め」を入力する場合

  「ま」のキーをタップしたままで、「め」が表示されている方向（右）にフリックします。

10キー

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄を左／右にフリックします。
- ▾ をタップすると、変換候補欄を広げられます。

❷ 文字入力モードを切り替えます。

❸ カーソル画面を表示します。
- カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付けしたりできます。

❹ 変換範囲を1文字縮小します。
- 未確定の文字がないときは、カーソルを左に移動します。

❺ キーボードの種類（P.30）を変更します。

❻ カタカナや英数字に変換します。
- 「Menu」と表示されているときは、入力方法の切り替えや、キーボードの各種設定などができます。

❼ 入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

❽ キーボードを閉じます。

❾ 顔文字／記号一覧（P.30）を利用します。

❿ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

⓫ 変換範囲を1文字拡大します。
- 未確定の文字がないときは、カーソルを右に移動します。

⓬ 変換を行います。
- ␣と表示されているときは、スペースを入力します。

⓭ 入力中の文字を確定します。
- ↵と表示されているときは、改行します。

■ QWERTY

パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。

- 英字のキーを上にフリックすると、大文字で入力できます。また、キーを下にフリックするとキーに割り当てられている数字や記号が入力できます。
- 半角英字入力時に表示される aA をタップすると、英字の大文字／小文字を切り替えます。

QWERTY

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄を左／右にフリックします。
- ▼ をタップすると、変換候補欄を広げられます。

❷ 文字入力モードを切り替えます。

❸ キーボードの種類（P.30）を変更します。

❹ 英字に変換します。
- 「Menu」と表示されているときは、入力方法の切り替えや、キーボードの各種設定などができます。

❺ カーソル画面を表示します。
- カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付けしたりできます。

❻ 変換範囲を1文字縮小／拡大します。
- 未確定の文字がないときは、カーソルを左／右に移動します。

❼ キーボードを閉じます。

❽ 顔文字／記号一覧（P.30）を利用します。

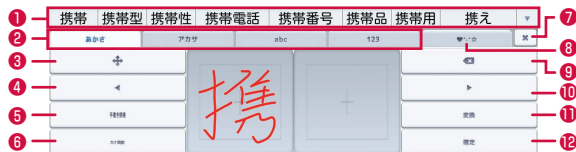
❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❿ 入力中の文字を確定します。
- ↵ と表示されているときは、改行します。

⓫ 変換を行います。
- ␣ と表示されているときは、スペースを入力します。

■ 手書き

手書きで文字を入力します。

- タッチパネルの認識状態や文字の形状によっては、正確に認識できない場合があります。

手書き

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄を左／右にフリックします。
- ▾をタップすると、変換候補欄を広げられます。

❷ 文字入力モードを切り替えます。

❸ カーソル画面を表示します。
- カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付けしたりできます。

❹ 変換範囲を1文字縮小します。
- 未確定の文字がないときは、カーソルを左に移動します。

❺ 手書き中の文字の候補を表示します。

❻ カタカナや英数字に変換します。
- 「Menu」と表示されているときは、入力方法の切り替えや、キーボードの各種設定などができます。

❼ キーボードを閉じます。

❽ 顔文字／記号一覧（P.30）を利用します。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❿ 変換範囲を1文字拡大します。
- 未確定の文字がないときは、カーソルを右に移動します。

⓫ 変換を行います。
- ␣と表示されているときは、スペースを入力します。

⓬ 入力中の文字を確定します。
- ↵と表示されているときは、改行します。

■ 50音

50音表をタップして入力します。

- 半角英数字入力時に表示される aA をタップすると、英字の大文字／小文字を切り替えます。

50音

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄を左／右にフリックします。
- ▼をタップすると、変換候補欄を広げられます。

❷ 文字入力モードを切り替えます。

❸ 英字に変換します。
- 「Menu」と表示されているときは、入力方法の切り替えや、キーボードの各種設定などができます。

❹ カーソル画面を表示します。
- カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付けしたりできます。

❺ 小文字／大文字を切り替えます。

❻ 変換範囲を1文字縮小／拡大します。
- 未確定の文字がないときは、カーソルを左／右に移動します。

❼ キーボードを閉じます。

❽ 顔文字／記号一覧（P.30）を利用します。

❾ 入力中の文字を確定します。
- ↵と表示されているときは、改行します。

❿ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

⓫ 変換を行います。
- ␣と表示されているときは、スペースを入力します。

キーボードの種類を変更する

1 キーボード表示中に「Menu」

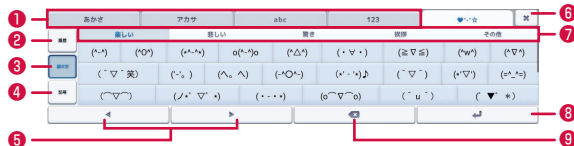
2 キーボードの種類をタップ

■ お知らせ

- ／をタップしても、10キー／QWERTYに切り替えられます。

顔文字／記号／定型文を利用する

1 キーボード表示中に「Menu」

2 「顔文字」／「記号」／「定型文」

例：顔文字の一覧画面

❶ 文字入力モードを切り替えます。
❷ 顔文字／記号の入力履歴を表示します。
❸ 顔文字の一覧を表示します。
❹ 記号の一覧を表示します。
❺ カーソルを左／右に移動します。
❻ キーボードを閉じます。
❼ カテゴリを切り替えます。
- 記号の一覧画面では、半角／全角を切り替えます。

❽ 改行します。
❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

■ お知らせ

- ♥^-^☆をタップしても顔文字／記号の一覧を表示できます。

Japanese IMEで入力する

パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。

日本語入力

半角英字入力

数字入力

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補を左／右にフリックします。

❷ 記号／顔文字一覧を利用します。カテゴリを選択し、入力したい記号／顔文字をタップして入力できます。
- キーボード表示に戻すには「戻る」をタップします。

❸ 入力モードを日本語・半角英字／数字入力に切り替えます。

❹ 英字の大文字／小文字を切り替えます。数字入力画面では、記号の種類を切り替えます。

❺ 日本語／半角英字入力に切り替えます。

❻ スペースを入力します。ローマ字入力中は、変換候補のカーソルを順番に移動します。

❼ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❽ 改行または実行します。文字入力中は文字を確定します。

❾ カーソルを右に移動します。移動できない場合、文字入力欄によっては次の入力欄にカーソルを移動します。

❿ カーソルを左に移動します。移動できない場合、文字入力欄によっては前の入力欄にカーソルを移動します。

⓫ 半角／全角を切り替えます。

Androidキーボードで入力する

パソコンのキーボードと同様のキー配列のQWERTYキーボードです。半角英字や半角数字・記号を入力できます。

半角英字入力

半角数字・記号入力

❶ 入力候補や自動修正の候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。候補をタップしたあと、再度候補をタップし「OK」をタップすると、Androidキーボードのユーザー辞書に登録できます。
❷ タブを入力します。タブが入力できない場合は、次の入力欄にカーソルを移動します。
❸ 入力モードを半角英字入力／半角数字・記号入力に切り替えます。
❹ 大文字／小文字を切り替えます。ダブルタップすると大文字固定に切り替えます。
❺ 入力オプションを表示します。
❻ 音声入力を使用します。
❼ スラッシュを入力します。
❽ スペースを入力します。
❾ クォーテーションを入力します。
❿ ハイフンを入力します。
⓫ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
⓬ 入力を決定したりカーソルを移動したりします。
- 「Next」と表示されているときは次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「Done」と表示されているときは入力を決定します。
- ↵と表示されているときは改行します。

⓭ 顔文字を入力します。ロングタッチすると顔文字の種類を変更できます。
⓮ 入力する記号を切り替えます。
⓯ アットマークを入力します。
⓰ ダブルクォーテーションを入力します。
⓱ アンダーバーを入力します。

■ お知らせ

- キーによってはロングタッチすることで、別の文字を表示して入力することができます。

文字の編集

文字列の選択／切り取り／コピー／貼り付けをする

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。

文字列選択画面

1 **入力した文字列をロングタッチ**

2 **／をドラッグして文字列を選択**

3 **アイコン／項目をタップ**

- アプリケーションによって、表示されるアイコン／項目は異なります。

アイコン／項目	説明
全て選択	入力した文字列をすべて選択します。
カット	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
ペースト	切り取り／コピーした文字列を、選択した文字列に上書きして貼り付けます。

■ お知らせ

- 切り取り／コピーした文字列がある場合は、以下の操作で貼り付けることができます。
  - 文字が入力されていない場合：文字入力欄をロングタッチ→「ペースト」
  - 文字が入力されている場合：挿入したい位置をタップ→→「ペースト」

ユーザー辞書（FSKAREN for Huawei）を利用する

単語をユーザー辞書に登録する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくと便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力欄にユーザー辞書に登録した見出し語を入力し、変換します。

1 **ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」の右に表示されているをタップ**

3 **「Menu」→「ユーザー辞書」**

4 **「新規登録」→単語・見出し語を入力し、品詞を選択→「登録」**

5 **「OK」→「閉じる」**

ユーザー辞書を編集する

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」の右に表示されているをタップ

3 「Menu」→「ユーザー辞書」

4 目的の編集を行う

■ 登録内容を編集する場合

① 編集する項目をタップ→「編集」
② 内容を変更→「決定」→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

① 削除する項目にチェックを付ける
②「削除」→「OK」→「OK」

■ 登録内容をユーザー変換辞書として登録する場合

①「変換」→「OK」

- ユーザー辞書に登録した単語をまとめて、1つの辞書（ユーザー変換辞書）として登録できます。登録しておくと、辞書ごとに使い分けることができます（P.34）。

■ 登録内容を保存する場合

①「保存」→「OK」

■ 保存した登録内容を復元する場合

①「復元」→復元する項目をタップ
②「復元」→「OK」→「閉じる」

■ 保存した登録内容を削除する場合

①「復元」→削除する項目をタップ
②「削除」→「OK」→「OK」→「閉じる」

■ お知らせ

- キーボード利用中に「Menu」→「ユーザー辞書」をタップしても、ユーザー辞書を利用できます。
- ユーザー辞書（拡張子：suj）を保存した場合は、内部ストレージ内の「FSKaren_UserDic」フォルダに保存されます。

ユーザー変換辞書を使用する

ユーザー辞書から登録したユーザー変換辞書を、文字入力時に使用するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」の右に表示されているをタップ

3 「Menu」→「ユーザー変換辞書」

4 使用する辞書にチェックを付ける

ユーザー変換辞書を確認／編集する

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」の右に表示されているをタップ

3 「Menu」→「ユーザー変換辞書」

4 目的の確認／編集を行う

■ 辞書を確認する場合

① 確認する辞書をタップ→「表示」→「閉じる」

■ 辞書名を変更する場合

① 編集する辞書をタップ→「辞書名変更」

② 辞書名を変更→「OK」→「OK」

■ 辞書を削除する場合

① 削除する辞書をタップ→「削除」→「OK」→「OK」

■ お知らせ

- キーボード利用中に「Menu」→「ユーザー変換辞書」をタップしても、ユーザー変換辞書を利用できます。

ユーザー辞書（Japanese IME）を利用する

単語をユーザー辞書に登録する

登録した単語を呼び出すには、文字入力欄にユーザー辞書に登録した読みを入力し、変換します。

- Japanese IMEのユーザー辞書に登録するには、文字の入力方法を「Japanese IME」に設定する必要があります（P.25）。「Japanese IME」以外の入力方法を設定していると、登録ができません。

1 ホーム画面で →「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「Japanese IME」の右に表示されているをタップ

3 「日本語ユーザー辞書」／「英語ユーザー辞書」

4 →「登録」→読み・表記を入力→「登録」

ユーザー辞書を編集する

1 ホーム画面で →「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「Japanese IME」の右に表示されているをタップ

3 「日本語ユーザー辞書」／「英語ユーザー辞書」

4 目的の編集を行う

■ 登録内容を編集する場合

① 編集する項目をタップ→ →「編集」

② 内容を変更→「登録」

■ 登録内容を1件消去する場合

① 削除する項目をタップ→ →「削除」

② 「OK」

■ 登録内容を全件削除する場合

① →「ユーザー辞書全削除」

② 「OK」

定型文／顔文字を追加／編集／リセットする

定型文や顔文字を追加／編集します。お買い上げ時の状態に戻すこともできます。

- FSKAREN for Huaweiの場合に利用できます。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」の右に表示されているをタップ

3 「Menu」→辞書設定の「定型文」

4 目的の追加／編集を行う

■ 追加する場合

① カテゴリを選択→「追加」
② 文字を入力→「OK」→「OK」

■ 変更する場合

① カテゴリを選択→変更する項目をタップ→「変更」
② 内容を変更→「OK」→「OK」

■ 削除する場合

① カテゴリを選択→削除する項目をタップ→「削除」→「OK」→「OK」

■ 移動する場合

① カテゴリを選択→移動する項目をタップ→「↑」／「↓」

■ 定型文／顔文字をお買い上げ時の状態に戻す場合

①「初期化」→「OK」→「OK」

キーボードの設定を変更する

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」→「Androidキーボード」／「FSKAREN for Huawei」／「Google音声入力」／「Japanese IME」の右に表示されているをタップ

- FSKAREN for Huaweiの場合は、続けてキーボードの「Menu」をタップします。

3 項目を設定

■ Androidキーボードの場合

項目	説明
入力言語	入力する言語を選択します。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
アドオン辞書	拡張辞書を設定します。
自動修正	入力が予測される候補を太字で表示し、スペースまたは句読点キーで自動修正するかどうか設定します。
修正候補を表示する	文字入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

項目		説明
詳細設定	言語切り替えキーを非表示	本端末では利用できません。設定を変更した場合でも、機能を利用することができません。
	他の入力方法に切り替え	
	カスタム入力スタイル	
	キーのポップアップ時間	
	候補の連絡先名を表示	連絡先の名前を入力候補や自動修正の候補に使用するかどうかを設定します。
	次の入力候補を予測	直前の単語から入力候補を予測するかどうかを設定します。
	キー操作バイブの振動時間の設定	キーをタップしたときのバイブレーションの長さを設定します。
	キー操作音の音量設定	キーをタップしたときの操作音の音量を設定します。

■ FSKAREN for Huaweiの場合

項目		説明
画面設定	デザイン変更	キーボードのデザインを設定します。
	変換候補行数	縦画面で変換候補を表示する行数を設定します。
	サイズ変更	キーボードのサイズを変更します。
ON／OFF設定	キーバイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	キー操作音	キーをタップしたときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。
	ワンタッチ変換	ワンタッチ入力を利用するかどうかを設定します。 • ワンタッチ入力とは、入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、変換を上にフリックして変換候補から入力する方法です。10キーでかな入力時にのみ有効です。
	予測変換	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	連携予測	確定した文字から予測して、入力候補を表示するかどうかを設定します。
	下段フリック	最下段のキーの下フリックに、文字を割り当てるかどうかを設定します。

項目		説明
各種設定	10キー入力方式	10キー利用時の入力方式を「フリック+トグル入力」/「フリック入力」/「トグル入力」/「2タッチ入力」から設定します。
	フリック感度	フリック入力時のタッチパネルの感度を設定します。
	オートカーソル	トグル入力時に、自動でカーソルが移動するまでの早さを設定します。
	入力文字種	キーボードごとに入力文字種を固定するかどうかや、固定時に利用する文字種を設定します。
	手書き画面タイプ	縦画面で手書き利用時の画面タイプを設定します。
辞書設定	ユーザー辞書	ユーザー辞書(FSKAREN for Huawei)を利用します(P.33)。
	ユーザー変換辞書	ユーザー変換辞書を利用します(P.34)。
	定型文	定型文/顔文字を追加/編集/リセットします(P.36)。
リセット	学習リセット	FSKAREN for Huaweiで記憶された学習内容を消去します。
	設定リセット	FSKAREN for Huaweiの設定項目をリセットします。
バージョン情報		FSKAREN for Huaweiのバージョンなどが表示されます。
FSKARENコミュニティ		FSKARENのコミュニティサイトにアクセスします。

■ Google音声入力の場合

項目	説明
入力言語を選択	入力する言語を選択します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用するための言語データのダウンロードをします。

■ Japanese IMEの場合

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。
キーボードのデザイン	キーボードのデザインを設定します。
日本語候補学習	入力した日本語を学習させるかどうかを設定します。
日本語予測変換	日本語の予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
英語候補学習	入力した英語を学習させるかどうかを設定します。
英語予測変換	英語の予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	日本語のユーザー辞書（Japanese IME）を利用します（P.35）。
英語ユーザー辞書	英語のユーザー辞書（Japanese IME）を利用します（P.35）。
学習辞書リセット	Japanese IMEで記憶された学習内容を消去します。
IMEについて	Japanese IMEのバージョンなどが表示されます。

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」（P.81）を行った後は、Wi-Fiの設定とドコモサービスの初期設定を行います。

1 **Wi-Fi設定の確認画面が表示されたら「はい」**

利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

- 「いいえ」をタップすると、Wi-Fiの設定をスキップできます。手順4から操作してください。

2 **接続するアクセスポイントをタップ**

セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。

3 ⮌

4 **ドコモサービスの初期設定画面で「進む」**

- 画面の指示に従って、ドコモアプリパスワードの設定を行います。

5 **「OK」**

■ お知らせ

- 操作ガイドが表示されたら、内容を確認して「以後表示しない」または「OK」をタップしてください。
- Wi-Fi機能の詳細については、「Wi-Fi機能を利用する」（P.66）をご参照ください。

Googleアカウントの設定

Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

- 事前にWi-Fiを設定する必要があります。

1 **ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「アカウントを追加」→「Google」**

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

画面表示／アイコン

ステータスバー

ディスプレイ下部に表示されるステータスバーには、本端末を操作するためのソフトキーやメールの受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコン、本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

ソフトキー

ソフトキー	機能
	直前の画面表示に戻るときに使用します。
	キーボードが表示されないようにします。操作が可能な場合にのみ、表示されます。
	ホーム画面に戻るときに使用します。 • ロングタッチしてにスライド（スワイプ）すると、「しゃべってコンシェル」または「Google」（検索）を起動できます。
	最近使用したアプリケーションや機能の一覧を表示します。 • 一覧でアプリケーションや機能のサムネイルをタップすると、アプリケーションや機能を起動できます。 • をタップして履歴から削除できます。をタップすると、すべての履歴を削除できます。

主な通知アイコン

アイコン	状態
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着インスタントメッセージ（Googleトーク）あり
	予定（カレンダー）の通知あり
	メディアプレイヤーで音楽再生中
	エラー発生（同期不具合など）
	本端末のメモリの空き容量低下
	Wi-FiがONかつWi-Fiオープンネットワークが利用可能
	VPN接続中
	アクセサリ（ACアダプタなど）接続中
	USBデバッグ（デバッグモード）で接続中
	Bluetooth通信でデータ受信中

アイコン	状態
	データのアップロード
	データのダウンロード
	Google Playに更新可能なアプリケーションあり／Google Playなどからアプリケーションをインストール完了
	画面を拡大表示できるアプリケーションを表示中
	d マーケットに更新可能なアプリケーションあり
	ソフトウェア更新可能
	GPS測位中
	スクリーンショット保存完了
	docomo Palette UIなどの通知あり
	キーボード表示中
	あんしん遠隔サポート起動中

主なステータスアイコン

アイコン	状態
	Wi-Fiネットワーク接続中
	Wi-Fiネットワークデータ通信中
	Bluetooth起動中
	Bluetooth対応機器に接続中
	機内モード設定中
	データ同期中
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート）設定中
	電池残量ほとんどなし • 充電してください。
	電池残量少
	電池残量十分
	充電中

通知パネル

ステータスバーの時刻表示やアイコンをタップすると通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

通知パネル

❶ 時刻、日付、電池残量、接続中のWi-Fiネットワーク名などの情報が表示されます。
❷ アイコンをタップして、画面の明るさの設定を切り替えたり、機内モード、Wi-Fi機能、Bluetooth機能、GPS機能、通知アイコンの表示／非表示や画面の自動回転のON／OFFを切り替えたりすることができます。各機能を無効に設定した場合は、アイコンがグレーに表示されます。
❸ 通知情報や実行中の情報が表示されます。タップすると、通知情報の確認や関連機能の操作ができます。通知情報は、左右にフリックすると消去できます。
❹ タップして、音響設定を「オフ」「音楽」「映画」から選択できます。イヤホン端子にイヤホンマイクやヘッドフォンなどを接続した場合は、音響設定に応じた効果を設定することができます。
❺ タップして、設定画面を呼び出すことができます。
❻ 通知情報などを消去して、通知パネルを閉じます。
- 消去できない情報のみが表示されている場合は、表示されません。

ホーム画面の見かた

ホーム画面

❶ **ホーム画面位置**
ホーム画面の現在位置を表示します。左右にフリックして切り替えられます。

❷ **ウィジェット**
ウィジェットの操作を行います。

❸ **Dock**
dマーケットなどのショートカットが表示されます。ホーム画面を切り替えても常に表示されます。

❹ **アプリケーションボタン**
タップすると、アプリケーション画面が表示されます（P.48）。

■ お知らせ

- ホーム画面は横画面表示のみとなります。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダ、アプリケーショングループなどを追加することができます。

ショートカットを追加する

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ**

2 **「ショートカット」→ホーム画面に追加したい項目をタップ**

ウィジェットを追加する

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ**

2 **「ウィジェット」→ホーム画面に追加したい項目をタップ**

ウィジェット	説明
アナログ時計	アナログ時計を表示
おすすめのコンテンツを楽しむ	Playストアからダウンロードできる、おすすめのコンテンツ情報を表示
お気に入り	お気に入りの連絡先を表示
カテゴリナビ	グルメやショッピングなどのジャンルごとに検索ができるサービスを表示します。

ウィジェット	説明
カレンダー	カレンダーを表示
ギャラリー	ギャラリー内の画像を表示
ブックマーク	ブラウザのブックマークを表示
ブックマーク	Google Chromeのブックマークを表示
メール	メールの受信トレイなどを表示
交通状況	ウィジェット名と目的地を入力すると、ホーム画面に現在地から目的地までの所要時間とともにウィジェットが表示され、タップして提供されている交通状況を確認
再生-マイライブラリ	PlayストアやPlayブックスなどで登録した、マイライブラリの内容を表示
電源管理	Wi-Fi機能のオン、Bluetooth機能のオン、GPS機能のオン、アカウントと同期、画面の明るさの各設定ボタンを表示
連絡先	登録されている連絡先を表示
Contents Headline	音楽、動画、電子書籍などの最新コンテンツ情報を表示
Gmail	Gmailの受信トレイなどを表示
Google Play ミュージック	内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生
Google+投稿	Google+の投稿を表示
Google検索	クイック検索を表示
Playストア	Playストアを表示
ToolBox Rewrite	画面の明るさの設定、機内モード、Wi-Fi機能、Bluetooth機能、GPS機能、通知アイコンの表示／非表示や画面の自動回転のON／OFFを切り替えたりすることができるアイコンを表示
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示

■ お知らせ

- Google Playからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。
- ウィジェットによってはサイズ変更可能な場合があります。サイズ変更をするには、ホーム画面で、サイズ変更したいウィジェットをロングタッチ→「サイズ変更」→ウィジェットの周囲に表示された◆をドラッグしてサイズを変更→ウィジェットの外をタップします。

フォルダを追加する

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ

2 「フォルダ」

アプリケーショングループを追加する

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ

2 「グループ」→ホーム画面に追加したいアプリケーショングループをタップ

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面で、移動したいショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

- タッチしたままホーム画面の左または右にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ショートカットなどのホーム画面からの削除

1 ホーム画面で、削除したいショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

2 「削除」

■お知らせ

- ホーム画面で削除したいショートカットやウィジェットなどをロングタッチして、画面右下部に表示されるにドラッグしても削除できます。

アプリケーションのアンインストール

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェットから、アプリケーション本体をアンインストールできます。

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリケーションやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」→「OK」

アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で、名前を変更するフォルダをロングタッチ

2 「名称変更」→フォルダ名を入力→「OK」

■お知らせ

- フォルダを開いてフォルダ名をタップしても名称変更できます。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「壁紙」**

2 **「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙ギャラリー」から選択→壁紙を選択**

- 「ギャラリー」の場合、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定し、「保存」をタップします。
- 「ライブ壁紙」／「壁紙ギャラリー」の場合、「壁紙に設定」をタップします。

■ お知らせ

- ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「壁紙ループ設定」→「壁紙のループ」にチェックを入れると、ホーム画面を左右にフリックして切り替えたとき、壁紙を繰り返して表示することができます。

ホーム画面の追加

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **＋**

- 最大12枚までホーム画面を追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **ホーム画面のサムネイルをロングタッチ**

3 **移動したい位置までドラッグして離す**

ホーム画面の削除

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **削除したいホーム画面のサムネイルの☒をタップ**

- 削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ→「削除」をタップしても削除できます。

アプリケーション画面の見かた

1　ホーム画面で

アプリケーション画面が表示されます。

アプリケーション画面

❶ アプリタブ
アプリケーション画面を表示します。

❷ おすすめタブ
ドコモがおすすめするアプリケーションをインストールできます。

❸ グループ名
タップすると、グループ内アプリケーションを表示できます。

❹ アプリケーションアイコン
新規にアプリケーションをダウンロードした場合や既存のアプリケーションが更新された場合、アイコンの左上にが表示されます。未読メールの件数などが数字で表示されるアイコンがあります。

❺ グループ内アプリケーション

❻ グループ内アプリケーションの数

■ お知らせ

- アプリケーション画面は横画面表示のみとなります。

アプリケーション一覧

お買い上げ時のアプリケーション画面に表示されるアプリケーションは次のとおりです。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。

■ ドコモサービス

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、タブレットならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。	P.91
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。	P.91
	dブックマイ本棚	dブックマイ本棚は、dブックで購入した本を読むためのブックビューアアプリです。	－
	dヒッツ	J-POPなどのヒット曲を中心に、「dミュージック」の約100万楽曲の中から選りすぐりの楽曲を配信します。アーティストやジャンル、年代などの切り口で、8チャンネル50プログラムを配信します。	－

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。	－

■ 基本機能／設定

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	電話帳	友人や同僚などの連絡先を管理できます。	P.53
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.65
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。	P.120
	FSKAREN	FSKAREN for Huaweiのユーティリティを起動します。文字の入力方法の選択や学習リセット、設定リセットを行うことができます。	P.26
	取扱説明書	本端末の取扱説明書を表示できます。	－

■ エンタメ／便利ツール

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	カメラ	写真の撮影、動画の録画ができます。	P.93
	フォトコレクション	写真や動画を管理できる無料ストレージサービスです。	－
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。	P.101
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。	P.113
	時計	アラームを利用できます。	P.108
	ファイルマネージャー	本端末内のファイルをカテゴリごとに確認することができます。	P.85

■ Google

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	メール	メールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。	P.55
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.58
	トーク	Googleトークを利用してチャットができます。	P.58

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリケーションです。	P.59
	Chrome	ウェブブラウザアプリケーションです。	－
	Google	キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。	－
	音声検索	音声で本端末内やウェブページを対象に検索できます。	－
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルなどの一覧を表示します。	－
	Playストア	Google Playにアクセスして新しいアプリケーションのダウンロード・購入ができます。	P.92
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。	P.103
	Playミュージック	内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。	－
	Playムービー	Google Playの映画レンタルサービスにアクセスして、鑑賞したい映画作品を選択してレンタルできる動画アプリです。	－
	Playブックス	Google Playの書籍からダウンロードした本を読むことができるアプリです。	－

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。	P.97
	カレンダー	カレンダーを表示して、予定の管理をします。	P.110
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	P.105
	ナビ	Googleマップナビを表示して、目的地への音声ナビゲーションなどを利用できます。	P.107
	ローカル	Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。	P.107
	Google+	Googleが提供するソーシャルネットワークサービス（SNS）のクライアントアプリであるGoogle+を起動します。	－
	メッセンジャー	Google+を利用してグループでチャットができます。	－

■ お知らせ

- アプリケーションによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。
- このアプリケーション画面に表示されているものは、お買い上げ時にプリインストールされています。プリインストールされているアプリケーションには、一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P. 92）などから再度ダウンロードできる場合があります。

アプリケーションの管理

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションをロングタッチ

2 「ホームへ追加」

アプリケーションのアンインストール

1 アプリケーション画面で、アンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ

2 「アンインストール」→「OK」

アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

アプリケーションの移動

1 アプリケーション画面で、移動したいアプリケーションをロングタッチ

2 移動したい位置／グループ名までドラッグして離す

- アプリケーションをロングタッチ→「移動」をタップしても、別のグループに移動させることができます。

グループの管理

グループの追加

1 アプリケーション画面で⋮→「グループ追加」

2 グループ名を入力→「OK」

グループの並べ替え

1 アプリケーション画面で、グループ名をロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

グループ名の編集

1 アプリケーション画面で、グループ名をロングタッチ

2 「名称変更」→グループ名を入力→「OK」

■ お知らせ

- 「最近使ったアプリ」／「ドコモサービス」／「ダウンロードアプリ」グループは、名称を変更することができません。

グループのホーム画面への追加

1 アプリケーション画面で、グループ名をロングタッチ

2 「ホームへ追加」

グループの削除

1 アプリケーション画面で、グループ名をロングタッチ

2 「削除」→「OK」

- 削除したグループに分類されていたアプリケーションアイコンは「ダウンロードアプリ」グループに移動します。

■ お知らせ

- 「最近使ったアプリ」／「ドコモサービス」／「ダウンロードアプリ」グループは削除することができません。

アプリケーションの検索

1 アプリケーション画面で⋮→「検索」

- Google Nowについての画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2 検索したいアプリケーションを入力→検索されたアプリケーションをタップ

「おすすめ」アプリケーションのインストール

「おすすめ」タブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。

- アプリケーションをダウンロードするには、アプリケーションアイコンをタップしてダウンロード画面を表示し、画面の指示に従って操作します。
- ダウンロードしたアプリケーションは、「アプリ」タブの「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。
- 「おすすめ」タブの「おすすめアプリを見る」をタップすると、ブラウザが起動し、dメニューのトップが表示されます。

アプリケーション情報

1 アプリケーション画面で⋮

2 「アプリケーション情報」

docomo Palette UIの提供者やバージョン情報などが確認できます。

電話帳

連絡先を登録する

電話帳アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

1 **ホーム画面で →「基本機能／設定」→「電話帳」**

連絡先一覧画面が表示されます。

2 **→保存先を選択**

3 **プロフィール編集画面で名前を入力**

- 「名前」欄の をタップすると、「敬称」や「ミドルネーム」などを入力できます。

4 **必要な項目を入力**

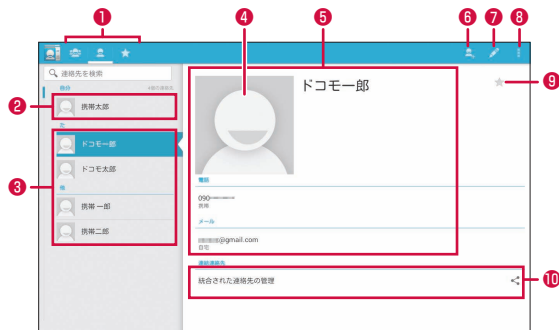
- 「新しく追加」／「 」をタップすると、選択した項目の入力欄を追加／削除できます。
- 「携帯」／「自宅」欄をタップすると、入力内容のラベル（種類）を選択できます。
- 「別のフィールドを追加」をタップすると、住所やメモなどの情報を追加できます。

5 **「完了」**

連絡先を利用する

1 **ホーム画面で →「基本機能／設定」→「電話帳」**

連絡先一覧画面が表示されます。

2 **確認したい連絡先をタップ**

連絡先一覧画面

❶ 連絡先一覧の表示切り替え

アイコンをタップして連絡先の表示方法を、グループ／50音順／お気に入りに切り替えます。

❷ 自分の名前

❸ 連絡先リスト

❹ 連絡先に設定された写真

❺ 登録内容

選択された連絡先の登録内容が表示されます。

- メールアドレスをタップして、メールを作成できます。

❻ 連絡先の新規登録

連絡先を登録します。

❼ 編集

選択している連絡先の内容を編集します。

❽ 設定

連絡設定一覧画面のメニューを表示します（P.54）。

❾ お気に入り

タップしてお気に入りへの登録／解除ができます。

❿ 連結連絡先

電話帳の統合（P.54）、統合された電話帳の解除（P.54）をします。

連絡先を連結する

複数の連絡先の内容を1つの連絡先に統合することができます。

1 連絡先一覧画面で連絡先を選択→「統合された連絡先の管理」

選択した連絡先に、他の連絡先を統合します。

2 「連絡先を追加」→統合する連絡先をタップ

連結した連絡先を解除する

1 連絡先一覧画面で連絡先を選択→「統合された連絡先の管理」

2 統合を解除したい連絡先の右にある「×」をタップ

連絡先一覧画面のメニュー

連絡先一覧画面で⋮をタップすると、次の項目が表示されます。

- 利用できるメニューは表示されている内容によって異なります。

項目		説明
共有		登録内容を表示している連絡先を、Bluetooth通信やメールなどで送信します。
削除		連絡先を削除します。
XXXXXXXにコピー／コピー		Googleなどのアカウントや本端末の電話帳に、連絡先をコピーします。
ホーム画面に配置		登録内容を表示している連絡先をホーム画面に配置します。
表示する連絡先		表示する連絡先の種類を選択します。
アカウント		アカウントの同期設定をします。
連絡先を選択削除		選択した連絡先または、全ての連絡先を削除します。
連絡先の選択共有		選択した連絡先または、全ての連絡先を、Bluetooth通信やメールなどで送信します。
連絡先の管理	連絡先の選択コピー	連絡先をコピーします。
	ストレージからインポート	SDカード、USBストレージから連絡先をインポートします。
	ストレージにエクスポート	SDカード、USBストレージに連絡先をエクスポートします。
	メモリ状況	連絡先の登録件数を確認します。
	重複連絡先の削除	重複している連絡先を削除します。

Eメール

Eメールアカウントを設定する

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウントの設定情報をご確認ください。
- Gmailのアカウントを設定する場合は、IMAPのみ設定できます。パソコンなどからGmailのアカウントでサーバーの設定をPOP3にしていると、利用することができません。

1 **ホーム画面で →「Google」→「メール」**

■ 2件目以降のメールアカウントを設定する場合

① ホーム画面で →「Google」→「メール」→ →「設定」→「アカウントを追加」

2 **アカウントの種類をタップ**

3 **各項目を入力→「次へ」**

- Eメールを手動で設定する場合は、「手動セットアップ」をタップし、表示される画面に従って設定してください。
- 2件目のメールアカウントの設定からは、必要に応じて「いつもこのアカウントでメールを送信」のチェックボックスにチェックを入れます。

4 **アカウントのオプションを設定→「次へ」**

- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

5 **アカウント名を入力→「次へ」**

- アカウントによっては、「あなたの名前」も入力してください。

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で →「Google」→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示するアカウントを選択し、Eメール一覧画面を表示します。

2 ** →「設定」→「全般」／設定したいアカウントをタップ**

3 **項目を設定**

- Eメールアカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
自動的に行う※	Eメール削除後に表示する画面を選択します。
メッセージの文字サイズ※	Eメール詳細画面のメッセージの文字サイズを設定します。
[画像を表示] をデフォルト設定に戻す※	画像を表示するかどうかを設定します。
アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	名前を変更します。
署名	署名を編集します。
クイック返信	Eメール作成時に挿入することができる定型文を登録します。
優先アカウントにする	通常のEメールアカウントとして使用するかどうかを設定します。
受信トレイの確認頻度	新着Eメールを自動受信する時間の間隔を設定します。

項目	説明
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
メール着信通知	Eメールを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信したときに鳴らす受信音を設定します。
バイブレーション	Eメールを受信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
送信設定	送信サーバーの設定を変更します。
アカウントを削除	Eメールアカウントを削除します。

※「全般」をタップした場合に表示されます。

Eメールを作成／送信する

1 **ホーム画面で →「Google」→「メール」→**

Eメール作成画面が表示されます。

2 **宛先に送信先のメールアドレスを入力**

- 名前やメールアドレスを入力すると、前方一致する連絡先がリスト表示されます。
- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。

■ **連絡先から宛先を選択する場合**

① →送信する連絡先をタップ→「追加」

■ **Cc／Bccを追加する場合**

①「Cc／Bccを追加」
②「Cc」／「Bcc」欄にメールアドレスを入力

3 **「件名」欄に件名を入力**

4 **本文欄に本文を入力**

- 本文欄には、「メールを作成します」が表示されているか、署名が挿入されています。

■ **ファイルを添付する場合**

① →アプリケーションを選択→ファイルを選択

■ **下書き保存する場合**

①「下書きを保存」

■ **作成を中止する場合**

① →「OK」

5

受信したEメールを確認する

1 **ホーム画面で→「Google」→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示するアカウントを選択し、Eメール一覧画面を表示します。

2

3 **確認したいEメールをタップ**

Eメール詳細画面が表示されます。

■ お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーにが表示されます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面で が表示されます。Eメール詳細画面で「添付ファイル」タブをタップし、（添付ファイルがダウンロードされていない場合は、「読み込み」をタップしてから）「表示」をタップするとファイルを開いて確認できます。「保存」をタップすると添付データを本端末に保存できます。

Eメールを削除する

1 **ホーム画面で→「Google」→「メール」**

2 **削除するEメールをタップ**

3

Eメールを返信する

1 **ホーム画面で→「Google」→「メール」**

2 **Eメールをタップ→**

■ 宛先の全員に返信する場合

①

3 **本文欄に本文を入力**

- 本文欄には、「メールを作成します」が表示されているか、署名が挿入されています。

4

Eメールを転送する

1 **ホーム画面で→「Google」→「メール」**

2 **Eメールをタップ→**

3 **「宛先」欄にメールアドレスを入力**

4 **本文欄に本文を入力**

- 本文欄には、「メールを作成します」が表示されているか、署名が挿入されています。

5

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で→「Google」→「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で読みたいメールをタップ

選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で→「Google」→「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で

- 本端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

Googleトーク

GoogleトークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。

オンラインチャット

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で→「Google」→「トーク」

2 使用するアカウントをタップ

3 チャット相手のアカウントをタップ

- チャット画面が表示されます。

4 「メッセージを入力」欄に文字を入力→

- 入力した内容が送信されます。

■ お知らせ

- Googleトークの詳細については、Googleトークの画面で→「ヘルプ」をタップして、Android OSヘルプをご覧ください。

ウェブブラウザ

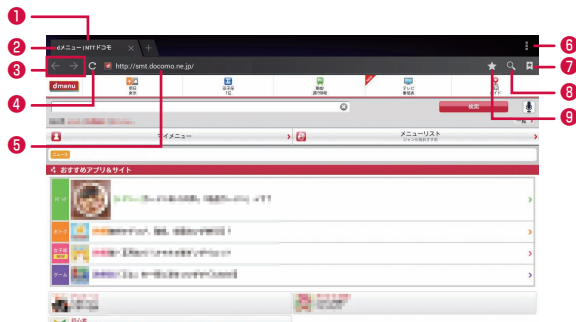
ウェブブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ブラウザを起動する

1　ホーム画面で🌐

ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/））が表示されます。

ブラウザ画面

❶ **タブ**

＋をタップすると新しいタブを表示します。タブをタップすると表示するウェブページが切り替わります。

❷ **ウェブページのタイトル**

❸ **戻る／進むアイコン**

以前に表示したウェブページが記録されている場合に、タップして表示させることができます。

❹ **更新アイコン**

ウェブページの表示を更新します。

❺ **アドレスバー**

ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

❻ **メニューアイコン**

ブラウザの設定メニューを表示します（P.60）。

❼ **ブックマークアイコン**

登録しているブックマークや記録されている履歴、保存されているウェブページを表示します。

❽ **検索アイコン**

文字や音声でキーワードを入力して、ウェブページを検索します。

❾ **ブックマーク登録アイコン**

表示しているウェブページをブックマークに登録します。

■ お知らせ

- アドレスバーなどが表示されていない場合は、画面を下にスライド（スワイプ）してスクロールすると表示されます。

ブラウザ画面表示中の操作

ブラウザ画面では、次の操作ができます。

- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
拡大／縮小	画面をピンチアウト／ピンチインします。
全体表示	画面をダブルタップします。 • 全体表示している状態でダブルタップすると、拡大表示します。
スクロール	スライド（スワイプ）／フリックします。
前の画面に戻る	をタップします。
テキストの選択／コピー、検索、共有	テキストをロングタッチします。 • スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択→「コピー」をタップするとコピーされます。 •「全て選択」をタップすると、ウェブページ内のすべてのテキストを選択できます。 •「共有」をタップすると、選択したテキストをメールなどで共有できます。 •「検索」をタップすると、選択したテキストを、表示しているページ内で検索できます。 •「ウェブ検索」をタップすると、選択したテキストをウェブで検索できます。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面でをタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
再読み込み／停止	ウェブページの情報を更新／更新停止します。
進む	／をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに戻ります。
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを開きます。シークレットタブのウィンドウで開いたページはブラウザの履歴や検索履歴に残りません。
ページを共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth通信やメールなどで送信したりします。
ページ内を検索	ページ内に表示されている内容を検索します。
PC版サイトを表示	PC版のウェブページを開くように設定します。
ページを保存	表示中のウェブページを保存して、オフラインで読めるようにします。 • →「保存したページ」で、内容を確認できます。
ページ情報	表示中のウェブページの情報を表示します。
設定	ブラウザの設定をします。
ブラウザ情報	ブラウザのバージョンなどの情報を表示します。
終了	すべてのタブを閉じて、ブラウザを終了します。

ウェブページのリンクを操作する

1 **ブラウザ画面でリンクをロングタッチ**

2 **利用したい項目をタップ**

- リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新しいタブで開く	ウェブページを新しいタブで開きます。
リンクを保存	ウェブページを保存します。
URLをコピー	URLをコピーします。
画像を保存	画像を保存します。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙として設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。
テキストを選択	テキストを選択します。 • スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択→「コピー」をタップするとコピーされます。 •「全て選択」をタップすると、ウェブページ内のすべてのテキストを選択できます。 •「共有」をタップすると、選択したテキストをメールなどで共有できます。 •「検索」をタップすると、選択したテキストを、表示しているページ内で検索できます。 •「ウェブ検索」をタップすると、選択したテキストをウェブで検索できます。
リンクを共有	画像をメールやBluetooth通信などで送信します。

ブックマークと履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 **ホーム画面で**

2 **ブックマークに追加するウェブページを表示→**

3 **ラベル、アドレス、アカウント、追加先を確認／変更→「OK」**

ブックマークからウェブページを表示する

1 **ホーム画面で**

2

ブックマークの一覧が表示されます。

3 **表示したいブックマークをタップ**

履歴や保存したウェブページを表示する

1 **ホーム画面で**

2 **→「履歴」／「保存したページ」**

履歴や保存ページの一覧が表示されます。

3 **表示したいウェブページをタップ**

- 履歴一覧画面で／をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除ができます。
- 保存したウェブページを表示して、→「最新版を表示」をタップすると、ウェブページの情報を更新できます。

ブックマーク／履歴／保存ページ一覧画面のメニュー

一覧画面で表示されるウェブページをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ウェブページによって、表示される項目は異なります。
- 保存ページ一覧画面では「保存したページを削除」のみ表示され、保存したページを削除できます。

項目	説明
開く	表示中のタブでウェブページを開きます。
新しいタブで開く	新しいタブでウェブページを開きます。
ブックマークの編集※1	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
ホームにショートカットを追加※1	ブックマークのショートカットをホーム画面に作成します。
ブックマークへ登録／ブックマークから削除※2	ブックマークに追加／ブックマークから削除します。
リンクを共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth通信やメールなどで送信したりします。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。
ブックマークの削除※1	ブックマークから削除します。
履歴から削除※2	ウェブページを履歴から削除します。
ホームページとして設定	ウェブページをホームページとして設定します。

※1 ブックマーク一覧画面でのみ表示されます。
※2 履歴一覧画面でのみ表示されます。

ブラウザを設定する

1 **ホーム画面で**

2 **→「設定」**

3 **項目を設定**

項目		説明
全般	**ホームページを設定**	ホームページを設定します。
	フォームの自動入力	ウェブフォームの入力欄をタップしたとき、「自動入力テキスト」に登録した内容を自動的に入力するかどうかを設定します。
	自動入力テキスト	ウェブフォームに自動的に入力する内容を登録します。

項目		説明
プライバシーとセキュリティ	キャッシュを消去	キャッシュデータを消去します。
	履歴消去	ウェブページの閲覧履歴を消去します。
	セキュリティ警告	ウェブページの安全性に問題がある場合に警告を表示します。
	Cookieを受け入れる	Cookieの保存・読み取りを許可します。
	Cookieをすべて消去	保存されたCookieを消去します。
	フォームデータを保存	ウェブページに入力した文字情報を保存します。
	フォームデータを消去	保存された文字入力履歴を消去します。
	位置情報を有効にする	本端末の位置情報へのアクセスを許可します。
	位置情報アクセスをクリア	本端末のすべての位置情報を消去します。
	パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶させます。
	パスワードを消去	記憶されたユーザー名・パスワードを消去します。

項目		説明
ユーザー補助	ズームの有効化を強制	「ユーザー補助」の設定を有効にして、すべてのウェブページで拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	テキストの拡大縮小	文字サイズを設定します。
	ダブルタップでズーム	ダブルタップ時の拡大率を設定します。
	最小フォントサイズ	最小文字サイズを設定します。
	反転レンダリング	反転レンダリングを設定するかどうかを設定します。
	コントラスト	「反転レンダリング」にチェックを付けた場合に、コントラストを設定します。

項目		説明
詳細設定	検索エンジンの設定	検索エンジンを設定します。
	バックグラウンドで開く	新規タブを表示中のタブの後ろに表示します。
	JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にします。
	表示モード	ウィンドウの表示モードを「タブレット」／「デスクトップ」／「モバイル」／「動画」から選択します。設定したモードにあわせてウェブページが表示されます。 • ウェブページが各表示モードに対応していない場合もあります。ウェブページ側の設定にあわせた画面表示となります。
	プラグインを有効にする	プラグインを有効にします。
	ウェブサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細情報を表示します。
	ズーム設定	ウェブページを拡大／縮小表示するかどうかを設定します。
	ページを全体表示で開く	新しく開いたウェブページを全体表示します。
	ページの自動調整	画面サイズに合わせてウェブページを表示します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックします。
	テキストエンコード	文字エンコードを設定します。
	初期設定にリセット	ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

項目		説明
帯域幅の管理	検索結果のプリロード	ブラウザが信頼度の高い検索結果をバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	ウェブページのプリロード	ブラウザがリンク先のウェブページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	画像の読み込み	画像表示の有無を設定します。
ラボ	クイックコントロール	クイックコントロールを表示してブラウザを操作できるようにするかどうかを設定します。 • 画面の左端／右端をロングタッチするとクイックコントロールが表示され、そのまま実行したい操作アイコンまで指をドラッグして離すと、各種操作ができます。 • チェックを付けると、アドレスバーやウィンドウアイコンが表示されなくなります。

本体設定

設定メニューについて

本端末は、設定メニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

設定メニューが設定内容の種類ごとに表示されます。

- 通知パネルでをタップしても設定メニューを表示できます。

無線とネットワーク

ネットワーク接続やWi-Fi、Bluetoothなどの無線接続についての設定をします。

項目	説明
機内モード	P.65
Wi-Fi	P.66
Bluetooth	P.87
その他...	P.68

機内モードを設定する

本端末の電源が入った状態で電波の送受信を停止します。設定すると、インターネット接続、メールの送受信など電波の送受信が必要な機能は利用できなくなります。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「機内モード」の「OFF」をタップして「ON」にする

ステータスバーにが表示されます。

■ お知らせ

- を長押し→「機内モード」をタップしても、機内モードを設定できます。
- 機内モードを設定すると、Wi-Fi機能やBluetooth機能がOFFになります。ただし、Wi-Fi機能とBluetooth機能は機内モード設定中でもONにすることができます。

Wi-Fi機能を利用する

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

アクセスポイントに自動で接続する

利用可能なアクセスポイントを検索して接続することができます。

- アクセスポイントが「WPS」に対応している場合、簡単な操作で接続の設定をすることができます。

1 ホーム画面で →「基本機能／設定」→「設定」

2 「Wi-Fi」

3 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

4 接続するアクセスポイントをタップ

■ オープンなアクセスポイントに接続する場合

アクセスポイントをタップすると自動的に接続されます。

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

① パスワードを入力→「接続」

- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。
- 「詳細オプションを表示する」にチェックを付けると、プロキシ設定やIP設定（DHCP／静的）などの設定項目を表示できます。

■ WPSボタンでアクセスポイントに接続する場合

① をタップ

② アクセスポイントのWPSボタンを押す

- アクセスポイントのWPSボタンは、ご利用のアクセスポイントのメーカーにより、名称が異なる場合があります。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

■ WPS PINコードでアクセスポイントに接続する場合

① →「WPS PINの入力」

② 画面に表示されたWPS専用のPINコードを、アクセスポイントに入力する

■ お知らせ

- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で →「スキャン」をタップします。
- Wi-Fiのスリープ設定をする場合は、Wi-Fi設定画面で →「詳細設定」→「スリープ時にWi-Fi接続を維持」→スリープの条件をタップして設定できます。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

1 **Wi-Fi設定画面で＋**

2 **ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方法を選択→パスワードを入力**

セキュリティ方法は「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」から選択できます。

3 **「保存」**

Wi-Fi接続を切断する

1 **Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」**

Wi-Fi接続の状況を確認する

以下で現在のWi-Fi接続の状況を確認できます。

- ステータスバー
  本端末がWi-Fiで接続している場合、ステータスバーにが表示され、電波強度が示されます。
- アクセスポイント
  Wi-Fi設定画面で、現在接続しているアクセスポイントをタップすると、接続状況、電波強度、セキュリティなどの情報が表示されます。

MACアドレス／IPアドレスを確認する

1 **Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」**

本端末のMACアドレス／IPアドレスが表示されます。

Wi-Fiの詳細設定をする

■ Wi-Fiのアクセスポイントを通知する

オープンネットワークのアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態でWi-Fiのアクセスポイントに接続していない場合に通知します。
- お買い上げ時はONに設定されています。

1 **Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」→「ネットワークの通知」にチェックを付ける**

- 利用可能なアクセスポイントが検出されると、ステータスバーにを表示して通知します。

■ 静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiのアクセスポイントに接続するように本端末を設定できます。

1 **Wi-Fi設定画面で接続するアクセスポイントをタップ**

2 **「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける**

3 **「IP設定」欄をタップ→「静的」→項目をタップして入力→「接続」**

その他の接続機能を利用する

VPNやUSBネットワークアダプタの設定をします。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「その他...」

項目	説明
VPN	P.68
USBネットワークアダプタ	P.69

VPNに接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。

VPNを追加する

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」→「その他...」

2 「VPN」

VPN設定画面が表示されます。

- VPNのご利用には、画面ロックの解除方法を設定しておく必要があります。画面ロックについての注意画面が表示された場合は、内容を確認→「OK」をタップしたあと、画面の指示に従って設定してください。

3 「VPNネットワークの追加」

4 ネットワーク管理者の指示に従って項目を設定

- 「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。

5 「保存」

VPNに接続する

1 VPN設定画面で接続するVPNをタップ

2 必要な認証情報を入力→「接続」

VPNに接続するとステータスバーにが表示されます。

VPNを切断する

1 VPN設定画面で切断するVPNをタップ→「切断」

VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。

USBネットワークアダプタで有線LANに接続する

- 事前にHUAWEI製のUSBネットワークアダプタ※を使用して、有線LAN回線と本端末をLANケーブルで接続する必要があります。詳しい接続手順については、USBネットワークアダプタの取扱説明書をご参照ください。
  ※ 2013年2月現在、日本国内で本機能に対応したUSBネットワークアダプタはありません。

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」→「その他...」

2 「USBネットワークアダプタ」

3 項目を設定

項目	説明
優先接続モード	優先的に接続するネットワークをUSB／Wi-Fiから選択します。
IPを自動的に取得	USBネットワークアダプタで接続時のIPアドレスを自動的に取得します。
IPを手動で設定	P.69
MACアドレス	USBネットワークアダプタのMACアドレスが表示されます。
IPアドレス／サブネットマスク	取得したIPアドレス／サブネットマスクが表示されます。

IPを手動で設定する

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」→「その他...」

2 「USBネットワークアダプタ」→「IPを手動で設定」

3 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSの項目を入力→「OK」

端末

省電力

本端末の電池の消費を抑えます。

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」

2 「省電力」

項目	説明
バッテリーセーバー	自動データ更新を最小限に抑えてバッテリーを長持ちさせます。
バランス	周囲環境の明るさに応じて電力消費を調整し、電池を長持ちさせます。
パフォーマンス	省電力をせずに、パフォーマンス優先で動作させます。

音

通知音、マナーモードなどの設定をします。

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」

2 「音」

項目	説明
音量	P.71
バイブレーション	P.71
マナーモード	P.71
通知音	P.71
タッチ操作音	アプリケーションやメニューを選択したときの操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロック／ロック解除時の通知音を鳴らすかどうかを設定します。
スクリーンショット音	スクリーンショットを撮影した時に、シャッター音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	ソフトキー（P.41）などをタップしたり、特定の操作をしたりした場合にバイブレーション動作をするかどうかを設定します。
ロック解除時バイブ	画面ロック解除時に振動するかどうかを設定します。
充電通知バイブ	充電開始時に振動するかどうかを設定します。

音量を調節する

メディア再生音、通知音、アラームの音量を調節できます。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「音」→「音量」

3 音量バーのスライダーを左／右にドラッグ→「OK」

■ お知らせ

- 通知音量は、／を押しても調節できます。
  ただし、動画や音楽など音声を再生するアプリケーションの使用中は、通知音量を調節できない場合があります。
- 動画／音楽再生などの一部のアプリケーションでは、画面上の音量バーでもメディア音量を調節できます。

バイブレーションを設定する

Eメールの受信時などに、本端末を振動させるかを設定します。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」→「音」

2 「バイブレーション」

3 「Eメール」／「カレンダー」をタップ

マナーモードを設定する

通知音などが鳴らないように設定できます。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」→「音」

2 「マナーモード」→「オフ」／「バイブレーション」／「ミュート」

「バイブレーション」／「ミュート」を選択した場合は、ステータスバーに／が表示されます。

■ お知らせ

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音やアラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- を長押し→／をタップしても、マナーモードを設定できます。

通知音を設定する

Eメールを受信したときなどに鳴る通知音を設定します。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」→「音」

2 「通知音」

3 通知音を選択→「OK」

表示

ディスプレイの明るさやバックライトの消灯時間などについて設定します。

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」

2 「表示」

項目	説明
画面の明るさ	P.72
色温度	P.72
壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
スマートバックライト	画面表示や色にあわせて、バックライトの明るさを自動で調整し、視認性を高めます。
あざやか表示	画面の色の拡張を有効にします。
スリープ	P.72
フォントサイズ	文字サイズを設定します。

画面の明るさの調整

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」

2 「表示」→「画面の明るさ」

3 スライダーを左／右にドラッグ→「OK」

- 「明るさを自動調整」にチェックが付いているときは、スライダーで調整できません。周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されます。

画面の色温度の調整

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」

2 「表示」→「色温度」

3 スライダーを左／右にドラッグ→「OK」

暖色／寒色のバランスが調整されます。

- 「デフォルト」にチェックが付いているときは、お買い上げ時の設定で表示されます。手動で調整する場合は、チェックを外してください。

スリープまでの時間を設定する

1 ホーム画面で■→「基本機能／設定」→「設定」

2 「表示」→「スリープ」

3 スリープまでの時間をタップ

ストレージ

本端末内のメモリ容量や、本端末に取り付けられているmicroSDカードのメモリ容量の確認などを行います。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ストレージ」

「データ保存先設定」で選択した保存先により、「内部ストレージ」、「SDカード」、「USBストレージ」の表示順が異なります。

項目		説明
データ保存先設定		P.74
内部ストレージ	合計容量	本端末内の合計メモリ容量を表示します。
	アプリ	本端末内にインストールされているアプリケーションのデータ容量を表示します。
	画像、動画※	本端末内に保存されている画像・動画データの容量を表示します。
	音楽、着信音、ポッドキャストなど	本端末内に保存されている音データの容量を表示します。
	ダウンロード※	本端末内にダウンロードされた画像などの容量を表示します。
	その他※	本端末内に保存されているその他のデータの容量を表示します。
	空き容量	本端末内のメモリの空き容量を表示します。
	内部ストレージ内データを消去	本端末内に保存されているデータを消去します。
SDカード	合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	空き容量	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	P.74
	SDカード内データを消去	P.74
USBストレージ	合計容量	USBストレージの合計データ容量を表示します。
	空き容量	USBストレージの空き容量を表示します。
	USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント	P.74
	USBストレージ内データを消去	P.75

※ 内部ストレージ内にデータが保存されている場合のみ表示されます。

■ お知らせ

- 本端末内のメモリの空き容量が少なくなると、本端末の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリケーションを削除してください。

データの保存先を設定する

ダウンロードや撮影したデータの保存先を設定します。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ストレージ」→「データ保存先設定」

3 「内部ストレージ」／「SDカード」／「USBストレージ」

- 「SDカード」、「USBストレージ」は、使用可能な場合のみ表示されます。

microSDカードのマウントを解除する

microSDカードの認識を解除して本端末から安全に取り外せるようにします。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」

- メッセージが表示されます。内容をご確認ください。

3 「OK」

■ お知らせ

- microSDカードのマウントを解除すると、内部ストレージのデータを再生したり、データを保存したりできなくなります。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット（初期化）します。
フォーマットを行うとmicroSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ストレージ」→「SDカード内データを消去」→「SDカード内データを消去」→「FAT32」／「NTFS」→「OK」

- 画面ロックの表示画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3 「全て削除」

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、microSDカードが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。

USBストレージのマウントを解除する

USBストレージの認識を解除して本端末から安全に取り外せるようにします。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ストレージ」→「USBストレージのマウント解除」

- メッセージが表示されます。内容をご確認ください。

3 「OK」

■ お知らせ

- USBストレージのマウントを解除すると、USBストレージのデータを再生したり、データを保存したりできなくなります。

USBストレージをフォーマットする

USBストレージをフォーマット（初期化）します。
フォーマットを行うとUSBストレージ内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「ストレージ」→「USBストレージ内データを消去」→「USBストレージ内データを消去」→「FAT32」／「NTFS」→「OK」**

3 **「全て消去」**

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、USBストレージが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。

電池

内蔵電池の使用状況を確認します。

1 **ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「電池」**

- 「電池性能表示」をタップすると、内蔵電池の充電能力の状態を表示します。

アプリ

アプリを管理

本端末にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。

1 **ホーム画面で→「基本機能/設定」→「設定」→「アプリを管理」**

2 **左右にフリックして項目を切り替え**

- 「ダウンロード済み」タブ/「SDカード」タブ/「すべて」タブで→「サイズ順に表示する」/「名前順に表示する」をタップして、表示順を変更できます。

3 **アプリケーションをタップ**

- アプリケーション情報を確認したり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行したりできます。

■ お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、アンインストールできない場合があります。

アプリケーションを無効化する

アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスを無効化することができます。無効化したアプリケーションはアプリケーション画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 **ホーム画面で→「基本機能/設定」→「設定」→「アプリを管理」**

2 **無効化したいアプリケーションをタップ→「無効にする」**

3 **表示される注意文を読み、「OK」**

- 再度有効化するには「有効にする」をタップします。

■ お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

キャッシュを消去する

1 **ホーム画面で→「基本機能/設定」→「設定」→「アプリを管理」**

2 **「SDカード」タブか「すべて」タブで「キャッシュを消去」をタップ**

- キャッシュデータが消去されます。

アプリの設定をリセットする

アプリケーションの無効化や特定の操作で使用するデフォルトのアプリケーションなどの設定をすべてリセットします。

1 ホーム画面で▪▪→「基本機能／設定」→「設定」→「アプリを管理」

2 ⋮→「アプリの設定をリセット」→「リセット」

ユーザー設定

ドコモサービス

ドコモサービスの利用に関する設定をします。

1 ホーム画面で▪▪→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ドコモサービス」

項目	説明
アプリケーション管理	アップデートの定期確認などを設定します。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
SDカードバックアップ	P.114
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

位置情報サービス

位置情報についての設定をします（P.104）。

セキュリティ

セキュリティについての設定をします。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「セキュリティ」

項目	説明
画面のロック	P.79
パスワードを表示する	パスワードの入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理機能	デバイス管理機能の有効／無効を設定します。
提供元不明のアプリ	P.80
信頼できる認証情報	認証情報や証明書へのアクセスをアプリケーションに許可します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去して、パスワードをリセットします。

※「画面のロック」での設定内容により、上記以外の項目が表示される場合があります（P.79）。

本端末で利用する暗証番号について

本端末では、画面ロック機能で暗証番号を利用します。

■ 暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）と本端末をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックを解除するときに、あらかじめ設定したロック解除操作を行わないと本端末を使用できないように設定します。

1 **ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「セキュリティ」→「画面のロック」**

- 画面ロックの解除方法を「ロックなし」「タッチ」以外に設定している場合は、設定した解除方法を入力します。

3 **画面の指示に従って項目を設定**

項目	説明
ロックなし	画面ロックの解除操作を不要に設定します。
タッチ	🔒をタップして画面ロックを解除するように設定します。
フェイスアンロック	顔認証によって画面ロックを解除するように設定します。 • 顔認証で解除できない場合やフェイスアンロックを無効にする場合に使用するため、パターンまたはPINの設定も行います。
パターン	パターンの入力で画面ロックを解除するように設定します。
PIN	暗証番号の入力で画面ロックを解除するように設定します。
パスワード	パスワードの入力で画面ロックを解除するように設定します。

■ お知らせ

- 「PIN」（暗証番号）は4～16桁の数字、「パスワード」は4～16桁の英文字または数字（英字が最低１文字必要）で設定できます。
- 「フェイスアンロック」に設定している場合、顔を撮影し直すことができます。ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「セキュリティ」→「顔認識の精度を改善」→画面の指示に従って顔を撮影します。
- 「フェイスアンロック」に設定した場合、ロック解除時にまばたきを必要とするかどうかを設定できます。ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「セキュリティ」→「生体検知」にチェックを付けます。
- 「パターン」に設定した場合、画面ロックを解除するときに指でなぞった軌跡を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「セキュリティ」→「パターンを表示する」にチェックを付けます。
- 「ロックなし」「タッチ」以外に設定した場合、ディスプレイが消灯してから画面ロックがかかるまでの時間を設定できます。ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「セキュリティ」→「自動ロック」→時間をタップします。
- 「パターン」「PIN」に設定した場合、画面ロック解除の入力時にバイブレーション動作をするかどうかを設定できます。ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「セキュリティ」→「タッチ操作バイブ」にチェックを付けます。
- 「ロックなし」以外に設定した場合、画面ロックの解除画面で所有者情報を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「セキュリティ」→「所有者情報」→「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを付け、所有者情報を入力します。
- 「ロックなし」「タッチ」以外に設定した場合、「データの初期化」（P.81）を行うときに、設定中の解除方法の入力が必要になります。

■ 画面ロックの解除に失敗した場合

パターン、PIN、パスワードを設定している場合に、入力に5回続けて失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

- 解除パターンやPIN、パスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

顔認証でのロック解除ができない場合は、フェイスアンロックの設定時に入力したパターン／PINを入力します。

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する

サードパーティのアプリケーションなど、提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、GooglePlayなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。
- 提供元が不明なアプリケーションをインストールする際は、セキュリティについて十分にご注意ください。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「セキュリティ」

3 「提供元不明のアプリ」にチェックを付ける

4 注意内容を確認→「OK」

言語と文字入力

本端末で使用する言語と文字入力時のキーボードについての設定をします。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「言語と文字入力」

項目		説明
言語		本端末の表示言語を設定します。
スペルチェッカー		スペルチェックを行うかどうかを設定します。
ユーザー辞書		Androidキーボードで使用する単語を登録します。
デフォルト		使用するキーボードを設定します。
Androidキーボード		P.36
FSKAREN for Huawei		P.37
Google音声入力		P.38
Japanese IME		P.39
音声検索	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	音声出力	常に音声出力を行うか、ハンズフリー時のみ行うかを選択します。
	不適切な語句をブロック	Google音声検索時に、不適切な語句の検索結果を表示するかどうかを設定します。
	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用するための言語データのダウンロードをします。

項目	説明
テキスト読み上げの出力	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
ポインタの速度	マウスやトラックパッドを利用する際の、ポインタの移動速度を設定します。

■ お知らせ

- お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

タブレットをリセット

本端末のリセットを行います。

1 **ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「タブレットをリセット」**

項目	説明
データの初期化	本端末に設定したGoogleアカウントや、インストールしたアプリケーションなどのデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 • 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。 • 撮影した写真やダウンロードした音楽のデータなどを含む、すべてのデータも同時に削除したい場合は、「内部ストレージ内データを消去」にチェックを付けます。

■ お知らせ

- 初期化の操作を行うと工場出荷時の状態に戻り、各種設定も初期状態になります。撮影した写真やダウンロードした音楽などのデータのみ削除したい場合は、設定メニューで「ストレージ」→「内部ストレージ内データを消去」（P.73）をタップしてください。

アカウント

Googleなど、オンラインサービスのアカウントを本端末に設定し、情報の同期やアップデートができます。

- GmailやGoogle Playなどの初回利用時にもアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

アカウントを追加する

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「アカウントを追加」

3 追加するアカウントのサービスをタップ

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

アカウントの設定をする

アカウントの設定をします。

- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。
- 設定内容は選択したアカウントにより異なります。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 アカウントの種類をタップ→設定したいアカウント名をタップ

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

■ お知らせ

- 同期させる項目を設定するには、アカウントをタップ→同期する項目にチェックを付けます。

アカウントを手動で同期する

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 アカウントの種類をタップ→同期するアカウントをタップ

3 →「今すぐ同期」

- 同期中に→「同期をキャンセル」をタップすると、同期をキャンセルできます。

アカウントを削除する

本端末からオンラインサービスのアカウントや、メッセージ、連絡先、設定情報などを削除します。

- 本端末からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 アカウントの種類をタップ→削除するアカウントをタップ

3 →「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

■ お知らせ

- アカウントを他のアプリケーションで使用していて削除できない場合は、「データの初期化」（P.81）を行うとアカウントを削除できます。ただし、「データの初期化」を行うと、お買い上げ時の状態にリセットされるため、インストールしたアプリケーションや登録情報などのデータが消去されます。
- docomoアカウントは削除できません。

システム

日付と時刻

日付と時刻についての設定をします。
- 「日付と時刻の自動設定」のチェックを外すと、日付と時刻を手動で設定できます。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「日付と時刻」

項目	説明
日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正するかどうかを設定します。
日付設定	年月日を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	年月日の表示形式を切り替えます。

ユーザー補助

ユーザーの操作を補助するアプリケーションや機能についての設定をします。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ユーザー補助」

項目	説明
TalkBack	Talkbackを利用するかどうかを設定します。TalkbackをONにすると、本端末から音声での情報を得ることができ、目の不自由なかたの助けになります。
大きい文字サイズ	大きい文字で表示するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本端末の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えるかどうかを設定します。 • ホーム画面やアプリケーション一覧画面、一部の機能の画面など、本設定にかかわらず自動的にはディスプレイの表示方向が切り替わらない場合があります。 • 一部のアプリケーションでは、本設定にかかわらず自動的にディスプレイの表示方向が切り替わります。
パスワードの音声出力	インストールしたユーザー補助サービスを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
長押し感知までの時間	タッチパネルをロングタッチする時間を設定します。
ウェブスクリプトをインストール	アプリケーションからウェブコンテンツへのアクセスを簡単に行えるスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

開発者向けオプション

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

タブレット情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「タブレット情報」

項目		説明
システムアップデート		本端末のソフトウェアの更新情報を確認したり、更新動作を実行できます(P.123)。
端末の状態		電池の状態や電池残量などを表示します。
法的情報	Huawei機器ユーザソフトウェアライセンス契約	エンドユーザーソフトウェア使用許諾契約を確認します。
	オープンソースライセンス	オープンソースの使用許諾条件を確認します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。
モデル番号、Androidバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号		本端末のハードウェアやソフトウェア、およびAndroid OSについての情報などが表示されます。
認証情報		電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークやFCC IDなどの情報が表示されます。

ファイル管理

ファイルマネージャー

本端末の内部ストレージやmicroSDカード内のファイルやフォルダを表示／再生したり、管理したりできます。

ファイルを表示／再生する

1 **ホーム画面で →「エンタメ／便利ツール」→「ファイルマネージャー」**

2 **「カテゴリ」／「内部」／「SDカード」タブをタップ**

3 **カテゴリまたはフォルダをタップ→ファイルをタップ**

ファイルを表示／再生するアプリケーションが起動し、ファイルを確認できます。

- ファイルによっては、本端末で再生できない場合があります。

■ お知らせ

- 「カテゴリ」／「内部」／「SD カード」タブ画面で →文字列を入力すると、フォルダやファイルを検索できます。

ファイルやフォルダを移動／コピーする

1 **「内部」／「SDカード」タブ画面で移動／コピーするファイルやフォルダをロングタッチ→「カット」／「コピー」**

- 複数のファイルやフォルダを移動／コピーするには、 →「複数選択」→ファイルやフォルダをタップ→ →「カット」／「コピー」をタップします。
- すべてのファイルやフォルダを選択するには、 →「複数選択」→画面上部の「選択済み：X」→「全件選択」をタップします。

2 **移動先／コピー先を表示→「ペースト」**

アプリケーションを管理する

1 **「カテゴリ」タブ画面で「アプリ」→「インストール済」／「アプリストア」**

- 「未インストール」内のアプリケーションは、管理操作ができません。

2 **アプリケーションをタップ→「開く」／「コピー先」／「共有」／「カテゴリに追加」／「アンインストール」**

- アプリケーションにより表示される項目が異なります。

ファイルマネージャー画面のメニュー

ファイルマネージャー画面でファイルやフォルダをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ファイルやフォルダの種類によって、表示されるメニューは異なります。

項目	説明
開く	ファイルやフォルダを開きます。
共有	Bluetooth通信やメールなどで共有します。
設定	壁紙や連絡先に登録します。
カット	ファイルやフォルダを移動します。
コピー	ファイルやフォルダをコピーします。
削除	ファイルやフォルダを削除します。
圧縮	ファイルやフォルダを圧縮します。
デスクトップ ショートカット	ホーム画面にショートカットを作成します。
ブックマークの追加	ブックマークを追加します。 • ブックマークを追加したファイルやフォルダを表示するには、「カテゴリ」タブ画面の「ブックマーク」をタップします。 • ブックマークを削除するには「カテゴリ」タブ画面で「ブックマーク」→削除するブックマークをロングタッチ→「OK」をタップします。
名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
詳細	ファイルやフォルダの詳細情報を確認します。
メディアファイルの表示／メディアファイルの非表示	フォルダ内のメディアファイルを表示するかどうかを設定します。

ファイルマネージャー画面で⋮をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
複数選択	複数のファイルやフォルダを選択して、移動／コピーや圧縮、削除などの操作ができます。
並べ替え	ファイルやフォルダを名前やサイズ、日時などで並べ替えます。
新規フォルダ	新規にフォルダを作成します。
ストレージ	内部ストレージやmicroSDカードの空き容量などを確認します。

Bluetooth通信

本端末とBluetooth対応機器との間で、データの送受信ができます。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 対応バージョンやプロファイルなどについては、「主な仕様」（P.124）をご参照ください。
- 本端末と接続するBluetooth対応機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 市販されているすべてのBluetooth対応機器との接続や動作を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

- 本端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）からできるだけ離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいためご注意ください。正常に接続できない場合やテレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりする場合があります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末と無線LAN対応機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能をONにする

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「Bluetooth」欄の「OFF」をタップして「ON」にする

ステータスバーにが表示されます。

本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「Bluetooth」

Bluetooth設定画面が表示されます。

3 「dtab01」

「dtab01」の下に「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示」と表示され、カウントダウンが開始されます。2分を経過すると、検出されなくなります。

- →「表示のタイムアウト」をタップすると、本端末を検出可能にする時間を設定できます。

端末の名前を変更する

他のBluetooth対応機器で、本端末を検出したときに表示される名前を変更します。

1 Bluetooth設定画面で→「タブレットの名前を変更」

2 端末の名前を入力→「名前を変更」

ペアリング／接続

本端末と他のBluetooth対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth対応機器とペアリング／接続する

1 Bluetooth設定画面で「デバイスの検索」

「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth対応機器が一覧表示されます。

2 ペアリング／接続を行う機器をタップ

3 画面の指示に従ってペアリング／接続

「ペアリングされたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth機器の名前が表示されます。

- 必要に応じてBluetoothパスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器どうしが、同じBluetoothパスキーを入力する必要があります。Bluetoothパスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 Bluetooth設定画面で解除操作を行う

■ Bluetooth対応機器とのペアリングを解除する場合

① 「ペアリングされたデバイス」欄の機器名称の

② 「ペアを解除」

■ Bluetooth対応機器との接続を解除する場合

① 「ペアリングされたデバイス」欄の機器名称をタップ

② 「OK」

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、をタップして名前の変更や、プロフィールの設定変更などができます。

データの送受信

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

データを受信する

1 相手側の機器からデータを送信

2 ステータスバーにが表示されたら通知パネルを開く→「Bluetooth共有：ファイル着信」

3 「ファイル転送」画面で「承諾」

データの受信が開始されます。
受信が開始されるとステータスバーにが表示されます。

■ お知らせ

- 受信したファイルは、通知パネルを開く→「Bluetooth共有：受信したファイル」→ファイルをタップするか、またはBluetooth設定画面で→「受信済みファイルを表示」をタップすると確認できます。

データを送信する

電話帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth対応機器に送信できます。

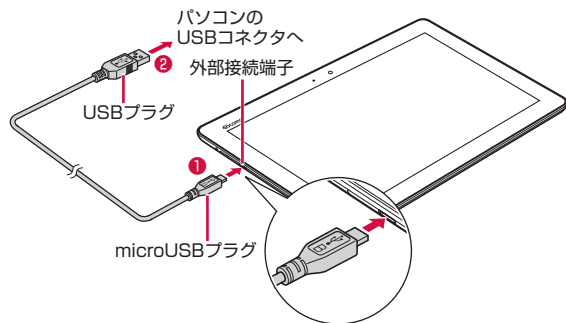
1 各アプリケーションのメニューから「Bluetooth」

2 データを送信する相手側の機器をタップ

データの送信が開始されます。
送信が開始されるとステータスバーにが表示されます。

外部機器接続

パソコンと接続する

付属のmicroUSB接続ケーブルを使用して、本端末とパソコンを接続します。

1 本端末の外部接続端子にmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして水平に差し込む（❶）

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（❷）

- 本端末と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 8（32ビットおよび64ビット）、 Windows 7（32ビットおよび64ビット）、 Windows Vista（32ビットおよび64ビット）、 Windows XP（SP3以降／32ビット）の各日本語版
メモリ容量※	64Mバイト以上（128Mバイト以上を推奨）
ハードディスクの空き容量※	64Mバイト以上

※ 動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

本端末をUSBストレージとして使用する

本端末とパソコンを付属のmicroUSB接続ケーブルで接続して、内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りできます。

- 接続するパソコンなどの機器の仕様や使用目的に応じて、接続の方式を設定できます。

1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続

2 接続方式を「メディアデバイス（MTP)」／「カメラ(PTP)」／「USBマスストレージ」から選択

ドライバが自動的にインストールされ、パソコンと接続されます。

- ドライバが自動的にインストールされない場合は、「ドライバインストール」を選択し、パソコンから仮想ドライブ（dtab01）にあるSetup.exeを実行してください。

3 パソコンを操作して、本端末内のストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りする

■ お知らせ

- 「USBマスストレージ」でパソコンと接続すると確認画面が表示されます。「USBマスストレージ」でデータをやり取りする場合は、「OK」をタップしてください。
- ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」→「ストレージ」→⋮→「USBでパソコンに接続」をタップしても、接続方式を設定できます。

本端末をパソコンから取り外すには

■「USBマスストレージ」で接続している場合

1 パソコン側で本端末の安全な取り外し操作を行う

2 microUSB接続ケーブルを取り外す

■ その他の接続方式で接続している場合

1 データの転送が行われていないことを確認して、microUSB接続ケーブルを取り外す

■ お知らせ

- 本端末とパソコンとの間でデータのやり取りをしているときにmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1　ホーム画面で→「ドコモサービス」→「dメニュー」

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

■ お知らせ

- dメニューのご利用には、Wi-FiまたはUSBネットワークアダプタによるインターネット接続が必要です。
- ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

- dマーケットのご利用には、docomo IDとパスワードが必要です。

1　ホーム画面で→「ドコモサービス」→「dマーケット」

■ お知らせ

- dマーケットのご利用には、Wi-FiまたはUSBネットワークアダプタによるインターネット接続が必要です。
- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Google Playで公開されているアプリケーションを本端末にインストールして利用することができます。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です（P.82）。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で

2 アプリケーションを検索し、内容を確認してインストールを行う

■ お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的に通信を行うものがあります。通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行されるものがあります。
- 有料アプリケーションの場合、規定の時間内であれば削除と返金要求ができます。詳しくはGoogle Play画面で→「ヘルプ」→「Androidアプリ」→「払い戻し、コメント、コンテンツに関するポリシー」をご確認ください。
- アプリケーションをアンインストールするには、Google Play画面で→アンインストールしたいアプリケーションをタップ→「アンインストール」→「OK」をタップします。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で→「ヘルプ」をご確認ください。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、画像が不鮮明になる場合があります。
- 本端末を日の当たる所や高温の所に放置すると、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末を動かすと、画像が乱れる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 撮影中は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行うと、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- マナーモード設定中でも静止画のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

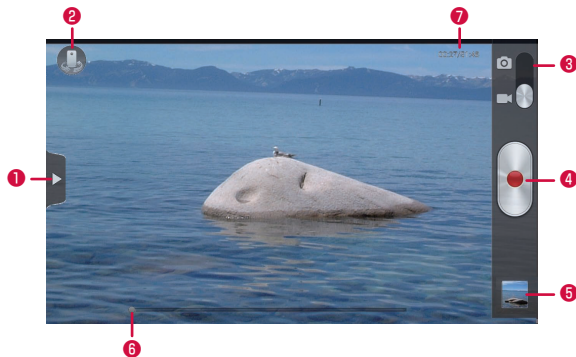
カメラを起動する

1　ホーム画面で→「エンタメ／便利ツール」→「カメラ」

撮影画面が表示されます。

- カメラを終了するには撮影画面で／をタップします。

撮影画面の見かた

撮影画面（静止画）

撮影画面（動画）

❶ **メニュー**
タップすると、撮影画面のメニューが表示されます（P.96）。

❷ **カメラ切り替え**
アウトカメラ（背面）／インカメラ（前面）を切り替えます。

❸ **撮影モード**
スライダーを上／下にドラッグして撮影モード（静止画撮影／動画撮影）を切り替えます。

❹ **シャッター**

❺ **サムネイル**
ギャラリーを開き、撮影した静止画／動画を確認できます。
をタップすると撮影画面に戻ります。

❻ **ズーム**
スライダーを左／右にドラッグしてズームを設定します。

❼ **動画の撮影時間**
撮影時間を表示します。

■ お知らせ

- 撮影画面に表示されているアイコンは本端末の向きに合わせて回転します。
- 撮影モードによって、設定できる項目は異なります。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体を画面に表示

2 シャッターをタップ

シャッター音が鳴り、静止画が保存されます。

■ お知らせ

- シャッター音と同時に撮影されます。
- 静止画の撮影可能枚数は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

動画を撮影する

1 動画撮影画面で被写体を画面に表示

2 シャッターをタップ

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

3 撮影が終わったら、シャッターをタップ

撮影終了音が鳴り、動画が保存されます。

■ お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

撮影画面のメニュー

撮影画面で▶をタップすると、次のメニューが表示されます。

- インカメラ／アウトカメラによって、表示されるアイコン／項目は異なります。
- 撮影モードを「パノラマ」に設定している場合は、表示できません。

■ 静止画の場合

アイコン／項目		説明
撮影モード	シングル	通常撮影モードに設定します。
	パノラマ	パノラマ撮影モードに設定します。 • パノラマ撮影モードで[O]をタップすると、「シングル」に設定されます。
	連写	1回のシャッターで10枚の写真を連続撮影するモードに設定します。10枚すべてが保存されます。
		効果を設定します。 • 撮影モードを「連写」にしている場合は設定できません。
ホワイトバランス		ホワイトバランスを設定します。
設定	確認	撮影後、プレビュー画面を表示する時間を設定します。プレビュー画面表示中は、撮影した静止画の共有、設定、削除などができます。 • 撮影モードを「連写」にしている場合は設定できません。
	ISO	ISOを設定します。
	画像調整	露出や彩度、コントラスト、画面の明るさを設定します。
	タイマー	セルフタイマーを設定します。 • 撮影モードを「連写」にしている場合は設定できません。
	写真の画質	画質を設定します。
	表示サイズ	表示サイズを設定します。
	グリッド	グリッド線を表示するかどうかを設定します。
	GPSタグ	撮影した静止画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
	保存先	撮影した静止画の保存先を設定します。
	初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

■ 動画の場合

アイコン／項目		説明
動画解像度		解像度を設定します。
ホワイトバランス		ホワイトバランスを設定します。
設定	確認	撮影後、プレビュー画面を表示する時間を設定します。プレビュー画面表示中は、撮影した動画の共有、再生、削除ができます。
	GPSタグ	撮影した動画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
	保存先	撮影した動画の保存先を設定します。
	初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

ギャラリー

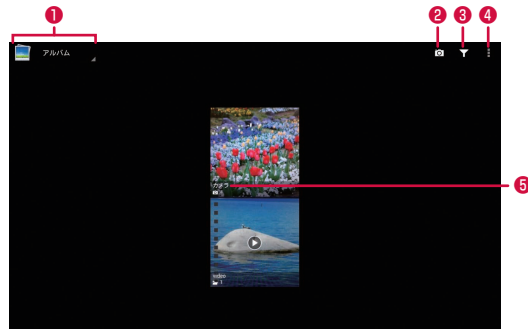
本端末で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたデータなどを再生します。また、静止画の編集や、静止画／動画の共有ができます。

- ギャラリーでは、microSDカードまたは内部ストレージに保存されているデータを再生します。
- 本端末で対応している拡張子は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	拡張子
静止画	gif、jpeg、png、bmp
動画	mp4、3gp、3g2、avi、mkv、webm

ギャラリーを開く

1 **ホーム画面で→「Google」→「ギャラリー」**

アルバム一覧画面が表示されます。

アルバム一覧画面

❶ 選択したテーマでフォルダ分けします。
❷ カメラを起動します。
❸ 画像ファイルをフィルタリングします。
アイコン用などの小さい画像ファイルの表示／非表示を切り替えます。
❹ メニューアイコン
アルバム一覧画面のメニューを表示します（P.98）。
❺ フォルダ名が表示されます。

アルバム一覧画面のメニュー

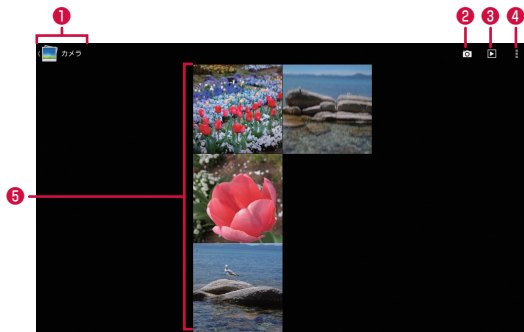
アルバム一覧画面で⋮をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
アルバムを選択	フォルダをタップして複数選択し、まとめて共有、削除します。 • 「XX件選択済み」→「全件選択」をタップすると、すべてのフォルダを選択できます。 • をタップすると、選択したフォルダのデータをPicasaやBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。 • ⋮をタップすると、選択したフォルダのデータを削除したり詳細情報を確認したりできます。
設定	非表示に設定したフォルダを表示するかどうかを設定します。 • フォルダをロングタッチ→⋮→「非表示」をタップすると、フォルダを非表示に設定できます。

■お知らせ

- アルバム一覧画面でフォルダをロングタッチし、目的のフォルダを1つずつタップしても、複数選択できます。
- データの種類によっては、共有に使用するアプリケーションが一部表示されないことがあります。

静止画／動画を再生する

1 アルバム一覧画面で再生するフォルダをタップ

サムネイル画面

❶ 選択されているフォルダ名を表示します。をタップするとフォルダ一覧画面に戻ります。
❷ カメラを起動します。
- カメラフォルダの場合のみ表示されます。

❸ フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。
❹ メニューアイコン
サムネイル画面のメニューを表示します（P.99）。
❺ 静止画／動画がサムネイルで表示されます。サムネイルをタップすると再生できます。左／右にスライド（スワイプ）すると、画面をスクロールできます。

2 静止画／動画をタップ

画面にアイコンが表示され、次の操作ができます。

- 端末の状態によっては、再生するアプリケーションの選択画面が表示される場合があります。他のアプリケーションを選択した場合は、アイコンが異なります。

■ 静止画再生の場合

アイコン	説明
	PicasaやBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。 ※ 端末の状態によっては、のメニュー内の項目がアイコンで表示されることがあります。
	削除します。

■ 動画再生の場合（「動画プレーヤー」を選択した場合）

アイコン	説明
	再生、停止などの操作をロックします。解除するにはをタップします。
	YouTubeやBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。
／	再生／一時停止します。
	左右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

■ お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。
- 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - 左／右にフリック：前／後の静止画／動画を表示
  - ダブルタップ：拡大表示／縮小表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：縮小表示／拡大表示
- 動画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - 画面の左半分を左／右にドラッグ：音量を調節
  - 画面の右半分を左／右にドラッグ：明るさを調整

サムネイル画面のメニュー

サムネイル画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
項目を選択	サムネイルをタップして複数選択し、まとめて共有、削除、回転します。 • 「XX件選択済み」→「全件選択」をタップすると、すべてのサムネイルを選択できます。 • をタップすると、選択したサムネイルのデータでPicasaやBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。 ※ 端末の状態によっては、のメニュー内の項目がアイコンで表示されることがあります。 • をタップすると、選択したサムネイルのデータの編集や回転、トリミング、削除などの操作ができます。
グループ化	フォルダ内の画像を設定したテーマでグループ分けします。

■ お知らせ

- サムネイル画面でフォルダをロングタッチし、目的のフォルダを1つずつタップしても、複数選択できます。
- データの種類によっては、共有に使用するアプリケーションが一部表示されないことがあります。

再生画面のメニュー

再生画面で⋮をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 静止画と動画では表示される項目が異なります。

項目	説明
スライドショー	フォルダ内の静止画をスライドショーで表示します。静止画をタップすると、スライドショーが停止します。
編集	静止画を編集します（P.100）。
左に回転	静止画を左に90度回転します。
右に回転	静止画を右に90度回転します。
トリミング	静止画をトリミングします。
画像を設定	静止画を壁紙や連絡先の画像に設定します。
詳細情報	静止画／動画の詳細情報を表示します。
サイズ変更	動画の表示サイズを設定します。
ジェスチャー設定	動画再生中に画面をドラッグした時の機能を設定します。
サブタイトルのロード	動画の字幕ファイルを読み込むことができます。
自動回転	動画の自動回転を設定します。

静止画を編集する

1 サムネイル画面で静止画をタップ

2 ⋮→「編集」

3 各アイコンで画像を編集

項目	説明
	設定した編集を解除して1つ前の状態にします。
	解除した編集内容を戻します。
	フィルライト、ハイライト、影、自動修正を設定します。
FX	表現手法を設定します。
	色効果や落書きを追加します。
	トリミング、赤目処理、傾き調整、回転、反転、シャープを設定します。

4 「保存」

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、microSDカードまたは本端末の内部ストレージに保存した音楽／動画を再生したり、dマーケットのストアからコンテンツを利用できます。

- パソコンからmicroSDカードまたは本端末の内部ストレージに音楽／動画ファイルを保存するには、「パソコンと接続する」（P.89）をご参照ください。
- 本端末で対応しているファイル形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	ファイル形式
音楽	AAC、AAC+、Enhanced AAC+、MP3、MIDI、WMA
動画	H.263、H.264、MPEG-4、WMV、VC-1、VP8

音楽／動画を再生する

1 ホーム画面で→「エンタメ／便利ツール」→「メディアプレイヤー」

データの一覧画面が表示されます。

2 画面左のアイコンをタップ

- 音楽を再生するには「全曲」／「着信音」／「アーティスト」／「アルバム」／「プレイリスト」／「ジャンル」／「年代」をタップします。
- 動画を再生するには「ムービー」をタップします。
- 「MUSICストア」／「VIDEOストア」をタップするとdマーケットが起動し、ストアの音楽／動画などのコンテンツを利用できます。

3 音楽または動画をタップ

選択した音楽／動画が再生されます。

■ お知らせ

- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できない場合があります。

■ 音楽／動画再生画面の操作について

- アイコンが消えている場合は、画面をタップすると再表示されます。

アイコン	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。 • データの先頭でをタップすると、前のデータの先頭にスキップします。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。
／／※1	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／その曲をリピート）。
／※1	シャッフル機能のON／OFF を設定します。
※2	データの一覧画面を表示します。
／※2	画面の表示方向を自動的に切り替えるかどうかを設定します。

※1 音楽の再生画面でのみ表示されます。
※2 動画の再生画面でのみ表示されます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

プレイリストを作成する

1 データの一覧画面で「プレイリスト」

2 「プレイリスト作成」→タイトルを入力→「OK」

3 「プレイリストに曲を追加」→曲を選択

- 「アーティスト」／「アルバム」タブをタップすると、アーティストやアルバムから検索できます。

4 「決定」→「完了」→「OK」

プレイリストを再生／編集／削除する

1 データの一覧画面で「プレイリスト」

■ プレイリストを再生する場合

① 再生したいプレイリストをタップ
② 曲をタップ

■ プレイリストを編集する場合

① 編集したいプレイリストをタップ
②「編集」
③ タイトル編集、曲の追加／削除、並び替えの変更などを行う→「完了」→「OK」

■ プレイリストを削除する場合

① プレイリストの一覧画面で「編集」
② 削除したいプレイリストをタップ→「完了」→「OK」

メディアプレイヤーのメニュー

メディアプレイヤーのデータ一覧画面や再生画面で⋮をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用できるメニューは画面によって異なります。

項目		説明
設定	オーディオエフェクト設定	エフェクトを設定します。
	着信音設定	着信音に設定します。
	再生中の曲を着信音設定	
	動画ソート設定	動画のソート方法を設定します。
	コンテンツの削除	音楽／動画を削除します。
	アイコンの並べ替え	データ一覧画面の左にあるアイコンを入れ替えます。
	データベースの更新	データの一覧を更新します。
	設定リセット	設定をリセットします。
ソート		データの並び順を変更します。
リスト表示／サムネイル表示		データのリスト表示／サムネイル表示を切り換えます。
サイトで探す		dメニューに接続して検索できます。
コンテンツ情報		再生中のコンテンツの情報を表示します。
ヘルプ		メディアプレイヤーのヘルプを表示します。
アプリ情報		メディアプレイヤーの詳細情報を表示します。
アプリ終了		メディアプレイヤーを終了します。

YouTube

YouTubeは、オンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生や投稿ができます。

動画を再生する

1　ホーム画面で →「Google」→「YouTube」

YouTube画面が表示されます。

2　動画を検索→再生する動画をタップ

動画再生画面が表示されます。

■ お知らせ

- 本端末で利用できる機能はパソコン版のYouTubeと異なる場合があります。

動画を投稿する

本端末からYouTubeに動画を投稿できます。

- 動画を投稿するには、GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1　画面左のアカウント名をタップ

- 動画の一覧画面が表示されている場合は、左上の「YouTube」アイコンをタップ→アカウント名をタップします。

2　→アップロードする動画を選択

- 動画を選択するアプリケーションにより、選択方法が異なります。画面の指示に従って操作してください。
- YouTubeユーザー名の作成画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3　必要な項目を入力／設定→「アップロード」

アップロードを開始します。

GPS／ナビ

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリケーションを使用するには、GPS機能を利用するか、またはWi-Fiを利用して、位置情報を検出できるように設定します。両方の利用を有効にしておくと、より正確な位置情報を検出できます。

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「位置情報サービス」

3 「現在地にアクセス」の「OFF」をタップして「ON」にする

4 項目を設定

項目	説明
GPS機能	GPS機能を利用して位置情報を検出します。 • 本機能を利用すると電池の消費が早くなります。電池の消費を節約する場合は、チェックを外してください。
Googleの位置情報サービス	Wi-Fiのデータを利用して位置情報を検出します。
GPS通知音	GPS機能使用中に警告音がなるかどうか設定します。
GPS使用履歴	GPSの使用履歴を利用するかどうかを設定します。

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、場所を検索したりできます。

また、Googleマップを利用して、次のアプリケーションを使用できます。

- Google Latitude（P.106）
- Googleマップナビ（P.107）
- Google+ローカル（P.107）

■お知らせ

- Googleマップを利用するには、Wi-Fiでの接続が必要です。
- すべての機能を利用するにはあらかじめ、ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」→「Google」→「位置情報の設定」→「Googleアプリに位置情報へのアクセスを許可する」の「オフ」をタップして「オン」にしておいてください。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

1 ホーム画面で→「Google」→「マップ」

マップ画面が表示されます。

- アイコン／項目をタップすると、次の操作ができます。

アイコン／項目	説明
	文字列を入力して地図上を検索します。
	音声で地図上を検索します。
	現在地表示に切り替えます。 • 現在地表示中はが表示されます。
	Google+ローカルを利用します（P.107）。
	目的地までの経路を表示します（P.106）。
	レイヤ機能を利用します（P.106）。

■お知らせ

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - スライド（スワイプ）：地図をスクロールして他のエリアを表示
  - ロングタッチ：住所をふきだしで表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：地図を縮小表示／拡大表示
  - ダブルタップ：地図を拡大表示
  - 2本指で同時にタップ：地図を縮小表示
  - 2本指で下方向にスライド（スワイプ）：地図を傾けて3D表示
  - 2本指で左／右方向にスライド（スワイプ）：地図を回転表示
- 地図をロングタッチして表示されるふきだしをタップすると情報画面が表示され、詳細情報の確認やスター付きの場所への登録などの操作ができます。

ストリートビューを見る

1 マップ画面で場所をロングタッチ→ふきだしをタップ→

- お知らせ画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- 地域によってはストリートビューに対応していない場合があります。

レイヤ機能を利用する

地図表示に道路の渋滞情報などを追加したり、航空写真表示に切り替えたりできます。

1 マップ画面で

2 項目をタップ

- 利用状況やエリアによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
交通状況	リアルタイムの渋滞状況を確認できます。
航空写真	航空写真表示に切り替えます。
地形	地形表示に切り替えます。
路線図	地図上に路線図を表示します。
Latitude	Google Latitudeを利用します（P.106）。
マイマップ	マイマップ（自分で作成した地図）を表示します。
ウィキペディア	地図上にWikipediaの情報アイコン（W）を表示します。

■ お知らせ

- 航空写真表示は、リアルタイムの画像ではありません。
- エリアによっては、交通状況や路線図などの情報を利用できない場合があります。

経路を調べる

出発地と目的地を設定して、経路を確認できます。

1 マップ画面で

2 「現在地」に出発地を入力

3 「目的地」に目的地を入力

- をタップすると、出発地と目的地を入れ替えできます。
- をタップすると連絡先や地図上の場所、マイプレイスから設定できます。

4 交通手段（／／）をタップ→「実行」

経路が表示されます。

Google Latitudeを利用する

友人がいる場所を地図上で確認したり、Bluetooth通信やメールなどを使って位置情報を共有できます。また、友人がいる場所への経路検索などもできます。

- 位置情報を共有するには、Latitude に参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

1 マップ画面で／→「Latitude」

マップ上にLatitude画面が表示されます。

■ お知らせ

- Latitudeの詳細については、マップ画面で→「ヘルプ」→「操作手順」→「その他のマップの機能」→「Latitude」をタップして、ヘルプをご確認ください。

マップ画面のメニュー

マップ画面で をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
地図をクリア	地図を初期表示に戻します。
オフラインで使用する	特定のエリアの地図をダウンロードして利用できます。
Latitude	Google Latitudeを利用します（P.106）。
マイプレイス	スター付きで登録している場所などを一覧表示します。
設定	Googleアカウントへのログインや切り替え、キャッシュ設定や各種情報の確認などができます。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

Googleマップナビを利用する

ナビゲーション機能を利用して、目的地までの経路を確認できます。

1 ホーム画面で →「Google」→「ナビ」

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容を確認→「同意する」をタップしてください。
- 位置情報の設定についての確認画面が表示された場合は、「OK」をタップしたあと、位置情報の検出を有効にしてください（P.104）。

2 ／ →「車」／「徒歩」

3 「目的地をキーボードで入力」→目的地を入力→表示された候補地から目的地をタップ

経路が表示されます。

- 「目的地を音声入力」をタップして、音声で入力することもできます。
- 「連絡先」／「スター付きの場所」をタップして、連絡先に登録されている住所やスター付きの場所で検索したりすることもできます。

■ お知らせ

- Googleマップナビの詳細については、ナビゲーション画面で →「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Google+ローカルを利用する

レストランやホテルなど現在地の周辺情報を調べることができます。

1 ホーム画面で →「Google」→「ローカル」

マップ上にローカル画面が表示されます。

- マップ画面で をタップしても表示されます。

2 カテゴリをタップ

選択したカテゴリで検索された情報が一覧表示されます。

3 確認する情報をタップ

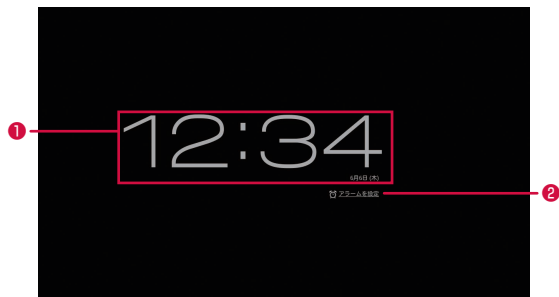
詳細情報が表示されます。詳細情報の確認や共有、スター付きの場所への登録などの操作ができます。

■ お知らせ

- カテゴリを追加するには、カテゴリ一覧画面で →「検索を追加」→追加するカテゴリをタップします。入力欄に新しいカテゴリ名を入力することもできます。

時計

時刻を確認したり、アラームを設定したりすることができます。

1 **ホーム画面で→「エンタメ／便利ツール」→「時計」**

卓上時計画面

❶ 現在の日付・時刻が表示されます。
❷ タップするとアラーム設定画面が表示されます。アラームが設定されている場合は、直近のアラームの設定時刻が表示されます。

■ お知らせ

- 画面をタップすると輝度を落とすことができます。また、画面をロングタッチすると、卓上時計の全画面表示（日時が青色、背景が黒色）に切り替えられます。

アラームを設定する

1 **卓上時計画面で「アラームを設定」**

アラーム設定画面が表示されます。

2 **「アラームの設定」**

3 **必要な項目を設定**

項目	説明
アラームをONにする	アラームのON／OFFを設定します。
時刻	時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションのON／OFFを設定します。
ラベル	アラーム動作時に表示するメッセージを入力します。

4 **「OK」**

アラーム設定画面に、設定したアラームが追加されます。

■ お知らせ

- アラーム設定画面で、設定した各アラームのチェックを付ける／外すと、アラームのON／OFFを切り替えます。

アラームが鳴ったときは

設定した時刻になるとアラームが鳴り、アラーム画面が表示されます。
「スヌーズ」をタップすると、アラームを停止し、後で再度アラームが鳴るように設定します。
「停止」をタップすると、アラームの設定を解除します。

■ お知らせ

- 本端末の電源が切れている場合は、アラーム時刻になってもアラームは動作しません。

アラームの設定を変更／削除する

1 アラーム設定画面で変更／削除するアラームをタップ

2 アラームの設定を変更／削除

■ 設定を変更する場合
① 設定を変更→「OK」

■ 設定を削除する場合
①「削除」→「OK」

アラームの基本設定をする

1 アラーム設定画面で「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
マナーモード中のアラーム	マナーモード設定中もアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
自動消音	アラームを自動的に消音にする時間を設定します。
音量ボタン	アラームが鳴っているときに[]／[]を押した場合の動作を設定します。
デフォルトの着信音を設定	アラーム音を設定します。

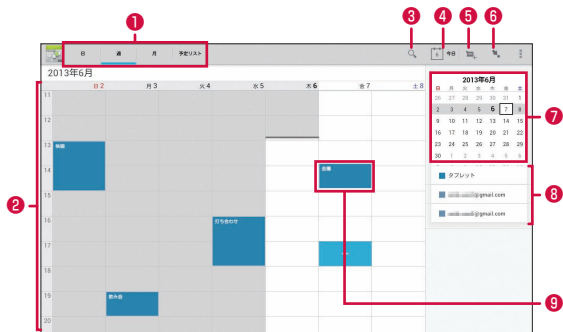
カレンダー

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本端末のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます。

カレンダーを利用する

ここでは、「カレンダー」アプリケーションからカレンダーを利用するときの操作を説明します。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で → 「Google」→「カレンダー」

カレンダー画面（週表示）

❶ 表示切替アイコン

タップすると、日表示／週表示／月表示／予定リストに切り替えられます。

❷ カレンダー

日表示／週表示／月表示の場合に表示されます。

- 日表示／週表示の場合は、現在の日時を過ぎたエリアは背景がグレーで表示されます。
- 月表示の場合は、当月の背景がグレーで、当日の背景が白色で表示されます。
- 予定リストの場合は、一定期間内の予定がリスト表示されます。表示される期間を変更するには、画面を上下にスクロールして「タップしてXXXX/XX/XXより前（後）の予定を表示」をタップします。タップするごとに期間が長くなります。

❸ 検索アイコン

タップすると、キーワードを入力して登録されている予定を検索できます。

❹ 当日アイコン

タップすると、当日を含む表示に切り替わります。

❺ 予定作成アイコン

予定を作成します（P.111）。

❻ 移動アイコン

表示したいカレンダーの日付を設定して移動します。

❼ サブカレンダー

日表示、週表示の場合に、月のカレンダーが表示されます。

❽ 予定の表示

タップすると、対象のアカウントや項目に登録されている予定を、カレンダーに表示するか、非表示にするかを切り替えることができます。

❾ 予定

登録した予定が表示されます。

カレンダー画面のメニュー

カレンダー画面で をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
更新	予定の同期を手動で行います。
予定のインポート	予定のデータをカレンダーにインポートします。
予定のエクスポート	予定のデータをカレンダーからエクスポートします。
コントロールを表示／非表示	日表示／週表示の場合に、画面右側に表示される月表示カレンダーやアカウント情報などを表示するかどうかを設定します。
設定	カレンダーの設定を変更します（P.112）。

カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面で

予定作成画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

- 画面上部のアカウント表示をタップすると、アカウントを切り替えることができます。
- アカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
タイトル	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
ゲスト	入力したアドレスにスケジュール情報が送信されます。
内容	予定の説明を入力します。
繰り返し	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
通知	予定の通知（P.112）を設定します。 •「通知を追加」をタップすると、通知の設定を追加できます。
外部向け表示	外部向け表示を「予定あり」／「予定なし」から選択します。
公開設定	予定の公開方法を設定します。

3 「保存」

予定を確認／編集／削除する

1 **カレンダー画面で予定をタップ**

予定詳細画面が表示されます。

■ 予定を編集する場合

①

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「この予定のみを変更する」／「一連の定期的な予定すべてを変更する」／「これ以降の予定すべてを変更する」をタップします。

② 予定を編集→「保存」

■ 予定を削除する場合

①

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「この日の予定のみ」／「これ以降の予定」／「すべての予定」をタップします。

② 「OK」

予定の通知を確認／スヌーズ／消去する

予定の通知を設定した場合、設定した時刻になると、ステータスバーにが表示されます。

1 **通知パネルを開く**

2 **通知を確認／スヌーズ／消去**

■ 通知を確認する場合

① 確認する通知をタップ

■ 通知をスヌーズする場合

① 「スヌーズ」

約5分後に再度通知します。

■ 通知を消去する場合

① 通知を左右にフリック

■ お知らせ

- 「ポップアップ通知」(P.113)にチェックを付けた場合は、通知日時になるとカレンダーの通知画面が表示され、通知を確認／消去できます。

カレンダーの設定を変更する

1 **カレンダー画面で→「設定」**

2 **項目を設定**

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
週番号を表示	カレンダー画面(月表示)の左側に、週番号を表示するように設定します。日表示、週表示の場合は、サブカレンダーの左側に週番号が表示されます。

項目	説明
週の開始日	週の開始日として表示する曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	タイムゾーンの異なる地域へ移動している間も、設定した自国のタイムゾーンのままで表示します。
自国のタイムゾーン	自国のタイムゾーンを選択します。
検索履歴を消去	予定の検索履歴を消去します。
通知	予定の通知を行うかどうかを設定します。
着信音の選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーション動作を設定します。
ポップアップ通知	予定の通知日時になると、カレンダーの通知画面を表示するかどうかを設定します。
通知時間の設定	予定の通知時間の初期値を設定します。
クイック返信	デフォルト返信メールを編集します。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）や関数計算などができます。

1 **ホーム画面で→「エンタメ／便利ツール」→「電卓」**

電卓画面が表示されます。

2 **キーをタップして計算**

■ お知らせ

- 電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字のカット／コピー／ペーストができます。電卓の表示欄や他のアプリケーションに貼り付けて利用できます。
- をタップすると、入力した数値や演算子が削除され、ロングタッチすると数式をすべて消去します。
- 「クリア」をタップすると計算結果が削除されます。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- バックアップや復元を行うときには、ドコモアプリパスワードが必要です（P.77）。
- 本アプリケーションでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ドコモサービス」→「SDカードバックアップ」

初めて起動したときは利用許諾契約書が表示されますので、内容を確認→「同意する」をタップします。

3 「バックアップ」→バックアップするデータにチェックを付ける

4 「バックアップ開始」→「OK」

5 ドコモアプリパスワードを入力→「OK」

選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

バックアップファイルを本端末に復元する

バックアップしたデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で▦→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ドコモサービス」→「SDカードバックアップ」

3 「復元」→復元するデータ種別の「選択」

4 復元するデータにチェックを付ける→「選択」

5 「追加」／「上書き」の○をタップして◉にする→「復元開始」→「OK」

6 ドコモアプリパスワードを入力→「OK」

選択したデータが本端末に復元されます。

Googleアカウントや本端末に登録されている連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ドコモサービス」→「SDカードバックアップ」

3 「電話帳アカウントコピー」→コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」

コピーした電話帳データがdocomoアカウントに保存されます。

4 「OK」

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1 ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」

2 「ドコモサービス」→「SDカードバックアップ」

3 「定期バックアップ設定」→「スケジュール追加」→「スケジュールをONにする」にチェックを付ける

4 「選択」→バックアップするデータにチェックを付ける→「選択」

5 繰り返し種別を選択→実行時間を設定

6 「決定」→「設定」→ドコモアプリパスワードを入力→「OK」→「OK」

SDカードバックアップのメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
ヘルプ	ヘルプを表示します。
アプリ情報	アプリ情報を表示します。
アプリ終了	SDカードバックアップアプリを終了します。

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によっては、お取り扱いしていない商品もあります。詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- dtab ACアダプタ 01
- ACアダプタ 04
- ポケットチャージャー 02
- ワイヤレスイヤホンセット 02

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まず、はじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.122）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。本端末を充電してください（P.20）。
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末を強制的に再起動することができます。 を10秒以上押すと、本端末を強制的に再起動します（P.21）。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない（ステータスバーに充電中を示すアイコンが表示されない）	• ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか（P.20）。 • ACアダプタとmicroUSB接続ケーブル、またはmicroUSB接続ケーブルと本端末がしっかりと接続されていますか（P.20）。 • 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また充電しながらアプリケーションなどを長時間使用した場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の充電で使用できる時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチパネルをタップしたり、ボタンを押しても動作しない	• スリープモードになっていませんか。⊂⊃を押してスリープモードを解除してください（P.21）。 • 本端末を強制的に再起動してください。⊂⊃を10秒以上押すと、強制的に再起動します（P.21）。
タッチパネルをタップしたときの画面の反応が遅い	• 本端末の内部ストレージに大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに発生する場合があります。
時計の時刻がずれる	• 長期間、電源を入れた状態にしていると、時計の時刻がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」（P.83）にチェックが付いていることを確認して、電波状態のよい場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 1.本端末の電源を切る 2.電源を切った状態で⊂⊃を2秒以上押し､「NTT docomo」ロゴが表示されたら､本端末が起動するまで▯（音量下キー）を押し続ける ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにして、起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了させてからご利用ください。 • 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください（P.76）。

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の明るさを変更していませんか（P.72）。 • 指やシールなどで照度センサーをふさいでいませんか。 • 「省電力」を「バランス」に設定していませんか（P.70）。

■ メール

症状	チェックする箇所
メールを自動受信しない	• メールのアカウント設定で「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」に設定していませんか（P.55）。

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください（P.17）。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth機器（市販品）側をペアリング待ち受け状態にしてから、本端末側からペアリングを行う必要があります。ペアリング済みの機器を削除して再度ペアリングを行う場合には、Bluetooth機器（市販品）と本端末の両方でペアリングした機器を削除した後、ペアリングを行ってください（P.88）。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- アクセスポイント未接続時、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 **スマートフォン遠隔サポートセンター**
0120-783-360
受付時間：午前9：00〜午後8：00（年中無休）
へ電話する

2 **ホーム画面で→「基本機能／設定」→「遠隔サポート」**

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 **ドコモからご案内する接続番号を入力する**

4 **接続後、遠隔サポートを開始する**

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってアプリケーションなどに登録された内容が変化･消失する場合があります。万が一に備え、アプリケーションなどの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、連絡先データをmicroSDカードに保存して頂くことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.117）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります。）
  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- ● 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る。
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ● 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- ● 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- ● 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、マイク
- ● 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ダウンロード情報などについて

端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

dtab 01のソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

■ お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - アクセスポイント未接続時
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を操作できません。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新はありません」と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のdtab 01固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、更新に失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアを更新する

サーバーに新しいソフトウェアがある場合は、ステータスバーにが表示されます。

1 **通知パネルを開く→該当するソフトウェアをタップ**

2 **画面の指示に従ってダウンロードする**

3 **ダウンロードが完了したら「インストール」**

手動でソフトウェアを確認／更新する

新しいソフトウェアがあるかどうかを手動で確認します。

1 **ホーム画面で→「基本機能／設定」→「設定」**

2 **「タブレット情報」→「システムアップデート」**

アップデートの確認中画面が表示されます。

- サーバーに新しいソフトウェアがない場合は、アップデートはない旨のメッセージが表示されます。

3 **画面の指示に従ってダウンロードする**

4 **ダウンロードが完了したら「インストール」**

■ お知らせ

- ソフトウェア更新実施時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。本体メモリの空き容量を確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合には、本端末の内部ストレージの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実行時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、下記の状態でないことをご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - アクセスポイントに接続されていない
  - 電池残量が不足している
  - 他の機能を起動している

主な仕様

■ 本体

品名		dtab 01
サイズ		高さ約175.9mm×幅約257.4mm×厚さ約9.9mm
質量		約633g
メモリ	ROM	8Gバイト
	RAM	1Gバイト
充電時間		dtab ACアダプタ 01：約350分
ディスプレイ	方式	IPS 16,770,000色
	サイズ	約10.1inch
	ドット数	横1280ドット×縦800ドット
撮影素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1／5.0inch インカメラ：1／6.0inch
カメラ	カメラ有効画素数	アウトカメラ：約300万画素 インカメラ：約130万画素
	記録画素数（最大時）	アウトカメラ：約300万画素 インカメラ：約130万画素
	デジタルズーム	アウトカメラ：最大約4.0倍 インカメラ：最大約4.0倍
無線LAN		IEEE802.11a／b／g／n（2.4GHz／5GHz）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.3.0に準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格　Power Class 2
	対応プロファイル※2	HSP（Headset Profile） OPP（Object Push Profile） SPP（Serial Port Profile） HID（Human Interface Device Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile） PAN（Personal Area Networking Profile）

※1 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 充電時間とは、端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオンポリマー電池
電圧	5V
容量	6020mAh

■ dtab ACアダプタ 01（microUSB接続ケーブル含む）

電源	AC 100V ～ 240V　50-60 Hz
入力電流	最大0.5A
出力電圧／電流	5.0V ／ 2.0A
使用温度範囲	0℃～ 45℃
サイズ	約65mm×約46mm×約22.5mm
ケーブル部の長さ（コネクタ部分含む）	約1200mm

■ ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は、以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 静止画の撮影枚数（目安）

表示サイズ	内部ストレージに保存できる撮影枚数※1	microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数※1
0.3メガ（640×480）	最大約45000枚	最大約10000枚

※1 写真の画質：ノーマル

■ 動画の撮影時間（目安）

動画解像度	内部ストレージに保存できる撮影時間	microSDカード（1GB）に保存できる撮影時間
VGA（640x480）	最大約121分（1件あたり最大約53分）	最大約25分（1件あたり最大約25分）

Operating Environment

The device complies with the RF specifications when the device is used at your body. For body worn operation, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 1.5 cm from the body.

Certification Information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.
Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves.
The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network. This device is designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA). The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit. This device type when properly worn on body is 1.428 W/kg, and when using Wi-Fi hotspotfunction is 1.428 W/Kg.

FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications to this device not expressly approved by HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Restrictions in the 5 GHz band:

Within the 5.15 to 5.25 GHz band, UNII devices will be restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite System (MSS) operations.

Disposal and Recycling Information

This symbol (with or without a solid bar) on the device, batteries (if included), and/or the packaging, indicates that the device and its electrical accessories (for example, a headset, adapter, or cable) and batteries should not be disposed of as household garbage. These items should not be disposed of as unsorted municipal waste and should be taken to a certified collection point for recycling or proper disposal.

For more detailed information about device or battery recycling, contact your local city office, household waste disposal service, or retail store.

Disposal of the device and batteries (if included) is subject to WEEE Directive Recast (Directive 2012/19/EU) and Battery Directive (Directive 2006/66/EC). The purpose of separating WEEE and batteries from other waste is to minimize the potential environmental impacts and human health risk of any hazardous substances that may be present.

Reduction of Hazardous Substances

This device is compliant with the REACH Regulation [Regulation (EC) No 1907/2006] and RoHS Directive Recast (Directive 2011/65/EU). Batteries (if included) are compliant with the Battery Directive (Directive 2006/66/EC). For up-to-date information about REACH and RoHS compliance, please visit the web site www.huaweidevice.com/certification.

EU Regulatory Conformance

Hereby, HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
For the declaration of conformity, visit the web site www.huaweidevice.com/certification.
This device may be operated in all member states of the EU.
Notice:
Observe national and local regulations where the device is used.
This device may be restricted for use, depending on the local network.

CE0168 ⓘ

- Observe the national local regulations in the location where the device is to be used. This device may be restricted for use in some or all member states of the European Union (EU).
- This device may be operated in all member states of the EU.

Restrictions in the 2.4 GHz band:
Norway: This subsection does not apply for the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund.
Restrictions in the 5 GHz band:
WLAN function of this device is restricted only to indoor use when operating in the 5150 to 5350 MHz frequency range.

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

本端末には、GNU General Public License（GPL）、またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
ライセンスの詳細を確認するには、ホーム画面で▦→「基本機能/設定」→「設定」→「タブレット情報」→「法的情報」で表示される内容、および本端末とパソコンを「ドライバインストール」モードで接続し、以下の手順でフォルダ内のファイルを参照ください（P.90）。

1 「スタート」メニューから「コンピューター」／「コンピュータ」／「マイコンピュータ」をクリック

2 「CDドライブ（B:）dtab 01」を右クリックし、「開く」をクリック

- ドライブ名（B:）の部分は、ご利用のパソコンの設定により、表示が異なる場合があります。

3 「documents」→「offer」→「written offer.pdf」の順にダブルクリック

書面によるオファー

本端末に含まれるGPLソースコード入りCDの送付をご希望の場合、Mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

輸出管理規制について

本端末及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本端末及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権

お客様が本端末を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本端末を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標

- 「dメニュー」「dマーケット」「ｉモード」「ｉアプリ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「モバイルGoogleマップ」、「Googleトーク」、「Googleトーク」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Calendar」、「Google+」、「Google+ローカル」、「Google+ローカル」ロゴ、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DISCRETIX™、DISCRETIX™ LOGOは Discretix™の登録商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 Operating System（Pro、Enterprise）の略称です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。
- Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Businessの略称です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

本端末から dメニュー⇒「お客様サポート」⇒「各種お申込・お手続き」
パソコンから My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き
※ ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 運転中の場合

運転中の携帯端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や通知音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、通知音の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】（P.71）

通知音、操作音など本端末から鳴る音を消します。※ただし、シャッター音は消せません。

【機内モード】（P.65）

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先
（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

■一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

Li-ion 00

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.
'13.2（1版）